

2010 栄光への軌跡

～僕らの一番輝いた夏～

『国体6連覇』により特急列車・関西エクスプレスは止まる事無く走り続けて行っている。止まらないしんどさと止まる事への恐怖を感じながら……。

『7』の数字を見て皆さんは何を想像するだろうか？「ラッキー7」「スリー7」「七福神」一般的には縁起が良い数とされている。しかし、浅野チームにとっては……？

今年は彼らのデビュー戦から始めてみよう。小さい細いと言われ、コックスを含め太れと言われていた。山椒は小粒でもピリリと辛いぞ！さあ、皆さん 22H クルーの物語の始まりです。

高畑杯レガッタ

平成 20 年 5 月 11 日(日) 百間川にて

3 年生が関西高校ボート部に入学して、いや入部して 1 ヶ月経つか経たないかの時期、まだバリバリのお客様としてサッカーや刑泥(鬼ごっこ)等で毎日楽しく遊んでいる頃だろうか？ボート部に目標を定めて入部した子とは——————っても少ない。殆んど拉致された者ばかりで、右も左も分からないまま旭川に連れて行かれ、艇に乗せられ風を感じる。「ああ、気持ち良いな。」何て思ったが最後。ズルズルと勧められるままに入部となってしまう。ボートというスポーツに対する認識の無さ、無知ゆえだろう。中学にボート部は無い。水の上という異世界での興味と憧れが高まり、一見楽しそうに風を切って漕いでいる先輩達の姿に『夢』を見てしまう。「自分もあんな風に成りたい。」簡単に成れるものと考えてしまいがちだ。楽しそうに漕いでいる様に見えるまでには、アノ筋肉を自分の物にしてしまわなくてはならないし、実際は歯を食いしばるようにしんどい思いをしながら漕いでいる。国体四連覇中ではあったが、その意味をどれほどの 1 年生が解かっていただろうか？「凄いな。」で済むような事ではないのは親も子も後で知ることになるのだ。私なんぞは、ボート部の凄さに気付くのに 1 年以上かかった。これは、最長記録に迫っているかもしれない程遅い。

地元での試合 1 発目。4 月の松江や GW の琵琶湖(朝日レガッタ)に応援に行っていない子にとって初めての試合観戦。……お手伝いに使われるのだから、厳しさを体温で感じたと思う。土砂降りの雨の中 1 年生 5 人がウォーターマンとしてスタート地点に、残りは選手の乗艇のお手伝いをする。途中トイレもなかなか行けないのでペットボトル持参って本当？とっても寒い 1 日でした。

国体県予選

平成 20 年 6 月 22 日(日) 百間川にて初めての試合。

1 年生もクォドルプル C・D で出場。D は 1000m コースにもかかわらず、沢山漕ぎたかったの？試合を初めて経験した。

3 着 関西 C・・・とり合えず真っ直ぐ進んだ。2・3 年の混成クルーの A・B には大きく差をつけられたが、まずまず無難に漕ぎきった。

4 着 関西 D・・・前半は C と良い勝負をするかに見えたが、COX が居るにも関わらず段々とジグザグが大きくなって行き、「どんだけ漕ぐの～～？」と保護者が騒ぎ笑い出すと今度はオールがバラバラに乱れた。艇は既にコースから大幅に反れ対岸に近づいていたような・・・。

このあと千葉チーム・樫原チームの時代を経て浅野チームが生まれる。国体 6 連覇達成の重い重いバトンを受け継いだ。

全国大会の経験者は浅野のみ、佐藤・岸本・井上が補漕で付いて行った事があるだけだ。1 年生はお客様、1 年生後半になって、あれっ？何かボート部ってしんどい？と感じ始め、そのまま抜けるに抜けられず体重を増やして体を作り体力向上と技術を磨いていったが、新潟国体が終わった途端に、先生の目も周囲の目も一斉に彼らに向けられた。突き上げるように体躯の良い 1 年生が下から脅かしてくる。シート争いに拍車が掛かり始めた。

岡山県高校秋季大会(新人戦)と全日本新人戦

10 月 18 日(日)、百間川にて本当にこれでも秋か？と思われるような暑さの中行われた。例年なら長袖シャツは勿論の事そろそろトレーナーでも OK のはずが、T シャツさえ恋しくなるほどに気温は上がった。

樫原チームが抜けて、浅野チーム最初の試合だ。岡山在住の OB 保護者もゾロゾロと新しいクルーを見物しに来る。ただ、大学の新人戦とも重なるので、いつもより静かに感じるかもしれない。今年は光亦が戸田に招待された為、両親はそっちへ行ってしまうている。光亦はアジア Jr. で台湾行きもあるから、まだまだ家族揃って忙しく飛び回っている。

《試合結果》

男子クォドルプル

関西 A・・・1 着 (家近・佐藤・角南・山地・岸本) 3 '39 "32

関西 B・・・2 着 4 '08 "43

関西 C・・・3 着 4 '14 "65

A の角南と山地は 1 年生だ。この 2 人を乗せて出場。B と C のレースが面白かったって？！今年も初めての試合の 1 年生が右往左往しながら 1000m を楽しんだ。

男子ダブルスカル

関西(井上・高田)・・・1着 3'31"18
岡山東・・・・・・・・・・2着 3'43"98
備前緑陽・・・・・・・・・・3着 3'52"55

男子シングルスカル

関西 A(浅野)・・・・・・・・1着 4'10"04
関西 B(高嶋)・・・・・・・・2着 4'22"31
関西 D(坪井)・・・・・・・・3着 4'26"92
関西 C(松島)・・・・・・・・4着 4'30"53

毎年の事だが、このままではヤバイ！ヤバイ！！と先生が騒ぎ出す。確かに風速・風向きの違いもあるだろうが昨年と比べるとかなり遅いから騒ぎ方も半端ないだろう。ましてクォドよりダブルの方が速いとは、なんで？？と新聞の記事を何度も見返してしまった。今年も全国の頂点を目指すチームとして苦難の幕開けを感じずにはいられない。

『頑張れ！！浅野チーム！負けるな！！チーム関西！』

戸田で行われた全日本新人戦についてもふれておこう。20歳までの若いチームで競われる全国大会。企業・大学がメインであるが優秀な成績の高校生・中学生も参加している。そう、中学生の女子クルーがいたのにはビックリした。光亦は小浜水産の長田君とダブルを組み参加しアジア Jr. の強さを見せ付けた。

男子ダブル予選

小浜水産高校・・・・・・・・1着 6'58"16→Semi-Finalへ
富山国際大学 B・・・・・・・・2着 7'21"84
龍谷大学 A・・・・・・・・・・3着 7'23"81
東京工業大学 A・・・・・・・・4着 7'59"04
北海道大学 B・・・・・・・・・・5着 8'06"19
東京海洋大学・・・・・・・・・・5着 8'13"04

ブッチギリの強さ！2着とのタイム差は凄いとしか言いようが無い。

男子ダブル準決勝

小浜水産高校・・・・・・・・1着 6'56"94→Final-Aへ
仙台大学 A・・・・・・・・・・2着 7'00"49→Final-Bへ
立命館大学・・・・・・・・・・3着 7'11"27
トヨタ自動車・・・・・・・・・・4着 7'22"98
米子東高校・・・・・・・・・・5着 7'31"56

仙台には20H谷が乗っていた。予選より更に速くなっている。

男子ダブル決勝

- 日本大学 B 1 着 7 '02 "44
- 日本大学 D 2 着 7 '05 "04
- 小浜水産高校 3 着 7 '06 "84
- 日本大学 A 4 着 7 '08 "44

堂々の 3 位・銅メダル獲得。接戦の 2 位争いを繰り広げた。ウィニングローではパフォーマンスを見せ、日大 D と競い笑いをとった。小浜水産でのエントリーとローサーには釈然としなかったが森川先生がこの場に来られないのだからどうしようもない。次の台湾を楽しみにしよう。この決勝は新旧日大生対決とも云える、学内シートレースっぽい感じがしないでもない。

高校選抜中国ブロック大会

11 月 1 日(日)、百間川にて。午後から雨との予報に何時降るか?何時降るか?と心配しながらの応援だった。現役保護者会も引き継いだばかりだったが OB も遠慮せず応援がしてもらえるようにとテントを 1 つ増やしていつもの 750m 地点に陣取った。今日の試合はゆっくりで 10 時スタート。寒さを感じるかと着込んで行ったが、晴れ間も指して暖かく感じた。お茶出しも忙しくしていたが、今回は『ご自由に』と書かれたドリンクとお菓子をテーブルに用意して 1 年保護者も遠慮なく、摘んでいた。試合予定も大きな文字で選手の名前まで丁寧に書かれ張り出してあった。・・ほっほう!なかなか工夫してるぞ!これなら名前と顔が一致しなくなった OB 保護者にもわかりやすい。

《シングルスカル》3 上がり

- 2. 山口県
- 3. 広島県 銀河学院高校→選抜へ
- 4. 島根県 江津工業高校→選抜へ
- 5. 岡山県 関西高校(高嶋) 4 着
- 6. 鳥取県 米子工業高校→選抜へ

熾烈な 3 着争いを繰り広げたがレース途中過呼吸状態に陥り漕ぎが乱れ選抜出場を逃してしまい、言葉少なく涙・涙の挨拶をした。保護者も思わずもらい泣きし箱ティッシュが回った。

《ダブルスカル》3 上がり

- 2. 鳥取県 米子東高校→選抜へ
- 3. 岡山県 関西高校 1 着→選抜へ
(S.井上 B.高田)
- 4. 山口県

5.広島県 皆実高校

6.島根県 江津工業高校→選抜へ

1 着争いに応援団も熱が入る。手を上げての勝利ポーズに歓声が上がった。

《舵付きクォドルプル》3 上がり

鳥取県 米子東高校・・・・・・3 着→選抜へ

広島県 宮島工業高校・・・・・・2 着→選抜へ

岡山県 関西高校・・・・・・1 着→選抜へ

(C.正宗 S.佐藤 3.浅野 2.角南 B.岸本)

島根県

山口県 西市高校

7 秒差で水を開けての勝利。タイムも 16 秒台をマークし県大会からの成長を示した。1 年は角南のみになり、2 年浅野が加わっていた。子供たちが優勝トロフィーを持って来た。学校に運んで欲しいと言っていたが、クォードメンバーの母達は記念撮影を始め、喜びに沸いた。

今年の公式戦が全て終わり、旭川から百間川にお引越しが始まる。本格的な冬練の始まりを告げた。

祝賀会

11 月 22 日(日)12 時～ロイヤルホテルにて国体 6 連覇と全日本選手権優勝を成し遂げた日大の関西 OB メンバー(依田・小林・若山・三村)と世界で活躍した大村君(NTT 東日本東京・COX)、三村(日大)、光亦のお祝いも兼ねて 191 名にのぼる出席者が集い盛大に催された。

国体だけのお祝いでは無かったので OB・OB 保護者の参加も多く、日本ボート協会からも初めて事務局長の小森氏と理事の藤居氏の 2 名と、いつも月刊ローイングで記事を書いている編集の谷氏もご出席いただいた。また、岡山県生活環境部スポーツ振興課・岡山県ボート協会・大学の監督 6 名・岡山県高体練事務局の廣江さん・シーシェルの奥田さん・ランクアップジャパンの吉見さん・関西学園からも多数ご出席を頂いた。ただ、桑原校長はラグビーの応援のため残念ながら欠席となった。それでも、出席はいただけなかった方の中には事前にお祝いを届けてくれた方もあり、たくさんの方が喜んでくださり、支えてくださっている事を切々と感じられて仕方がない。

選手入場に始まり、会場のざわめきが聞こえてくるが受付のメを済ませなくては中に入れない。19H 植田母と入ったのは 12 時 30 分、来賓の挨拶中。遅れて 19H 森本母、最後に 17H 林父と 20H 高橋夫妻が現れた。長い長い 6 名の来賓の話は 12 時 45 分まで続き、皆お預けを喰らっていた。やっと、乾杯で宴会がスタート。今年は 3 年生・3 年保護者・OB が

ビール片手に会場を飛び回る姿が印象的で、ビデオ映像は全日本選手権まで含まれ綺麗にまとめられていた。

あっという間に時間が経った。お見送りの後、子供たちはテーブルに残った料理を『残さず全部食べ～～！』とむさぼっていた。とっても良い祝賀会でした。

しばらく数字ばかりです 面倒な方は1pへ飛んで下さい

第22回全国マシンローイング大会(四国エルゴ)

11月23日(日)、香川県坂出市立体育館にて行われた。冬といえばエルゴの季節。いかにサボらずガンバっているか評価が数字に表れる恐怖のエルゴ。エルゴだけが全てではないが、選抜へのシート争いにも響きかねない。佐藤が1位を取り、レコードを出せた子供たちは讃岐名物の『うどん』を先生にご馳走になる。

16～18才

順位	氏名	タイム (2000m)	年齢	所属
1	佐藤 周平	06:47.7	17	関西高校
5	角南 友基	06:51.1	16	関西高校
6	浅野 耀典	06:53.4	17	関西高校
8	岸本 宗也	06:58.6	17	関西高校
9	井上 和彦	07:01.3	17	関西高校
18	高田 一秀	07:11.5	17	関西高校
20	松島 英輝	07:12.3	17	関西高校
21	内田 龍昇	07:13.4	16	関西高校
25	高嶋 大貴	07:14.8	17	関西高校
40	高木 健吾	07:28.4	16	関西高校
45	坪井 隆委	07:29.9	17	関西高校
51	守安 寛志	07:32.1	16	関西高校
53	鷺北 祐輔	07:34.1	16	関西高校
58	伊藤 孝行	07:36.1	16	関西高校
73	栗山 拓也	07:58.6	16	関西高校
76	妹尾 涼	08:00.4	16	関西高校

第7回ロングレース 『The Head of HYAKKEN』

11月28日(土)9時～百間川にて。暖かい日差しの中、8時より開始された。16～18歳の男子の部では今年も上位を関西が独占して終わった。

関西クオドA・・・0:29:43

関西クオドB・・・0:31:40

関西ダブルA・・・0:27:29

関西ダブルB・・・0:31:22

関西ダブルC・・・0:28:45

関西ダブルD・・・0:29:46

関西ダブルE・・・0:00:00

井上和彦・・・・・・・・0:29:30→1位

岸本宗也・・・・・・・・0:29:39→2位

佐藤周平・・・・・・・・0:29:48→3位

浅野耀典・・・・・・・・0:29:49

高嶋大貴・・・・・・・・0:30:35

坪井貴委・・・・・・・・0:30:43

高田一秀・・・・・・・・0:31:17

角南友基・松島英輝は棄権

井上・岸本・佐藤がケーキを頼張った。全体トップの竹内さん(品川白煉瓦)とは約2分差。

2009. 11月					
順位	名	前	20分	学年	学校
1	小瀧	和徳	5772	2	会津高校
2	塚口	智章	5726	2	佐原高校
3	繁田	涼	5720	2	小浜水産高校
4	鎌倉	信弥	5711	2	銚子商業高校
5	小林	大輔	5677	1	小見川高校
6	佐藤	祐介	5670	3	塩釜高校
7	鈴木	伸哉	5639	2	旭丘高校
8	加藤	隆一	5634	2	八尾高校
9	正垣	克敏	5634	2	熊本学園大学
10	松原	裕樹	5631	2	小松高校
11	大塚	圭宏	5628	1	沼津工業高校
12	奈良	和紀	5628	2	小見川高校
13	佐藤	周平	5624	2	関西高校
24	浅野	耀典	5560	2	関西高校
26	市川	智洋	5553	3	関西高校
38	角南	友基	5509	1	関西高校
45	井上	和彦	5492	2	関西高校
46	山地	冬馬	5492	1	関西高校

2009、11月エルゴランキング

左表の通り 10 位以内に関西の名前が無く、13 位にやっと佐藤の名前が入った。

67	岸本	5426
0144	高嶋	5342
0148	高田	5336
0274	松島	5236
0305	内田	5217
0539	坪井	5188
0439	田中	5141
0620	守安	5067
0826	鷺北	4987
0903	伊藤	4940
1322	栗山	4647

これを見た保護者は何を感じただろうか？上位には小見川等の千葉県勢がひしめき合っていた。恐怖も感じるが、伸び代はたくさんある子供たちの踏ん張りに期待しよう！！

岡山エルゴ大会

12月6日(日) 百間川操山高校艇庫にて。

上位三人がフルーツのどっさり乗ったホールケーキにかぶりついた。レコードを出したのは三人の中で岸本だけではあったが、まだまだ遅いと三人声を揃えて言った。そして、「ざまあみろ！浅ぬ」とも……。どうしたんだ？浅野～～！？

更に、翌日のブログでは森川先生怒りの投稿が掲載された。2000T.Tの文字が泣いて見える。過去の記録と比べるとは忍びないが、6分40秒前後の記録が1人位は欲しいところ、といった感じかな？また、静か過ぎる、大人しすぎるとの感想もあり、傷の舐め合いではなく切磋琢磨する方向へ向かって欲しいと爆発していた。

日本ボート協会のHPより記録を引っ張ってきました。10位以内に一年生が三名……。これは、一年生が凄いのか？二年生が不甲斐無いのか？

16～18才

順位	氏名	タイム (2000m)	年齢	所属
1	佐藤 周平(2年)	06:53.5	17	関西高校
2	岸本 宗也(2年)	06:54.7	17	関西高校
3	角南 友基(1年)	06:57.9	16	関西高校
4	井上 和彦(2年)	06:58.4	17	関西高校
5	山地 冬馬(1年)	07:00.1	16	関西高校
6	浅野 耀典(2年)	07:01.7	17	関西高校
10	内田 龍昇(1年)	07:13.3	16	関西高校
11	高田 一秀(2年)	07:14.6	17	関西高校
12	松島 英輝(2年)	07:14.7	17	関西高校
14	高嶋 大貴(2年)	07:19.3	17	関西高校
15	田中 勇斗(1年)	07:21.9	16	関西高校
16	守安 寛志(1年)	07:25.2	16	関西高校
17	坪井 隆委(2年)	07:27.1	17	関西高校
19	伊藤 孝行(1年)	07:29.6	16	関西高校
20	高木 健吾(1年)	07:30.6	16	関西高校
21	高木 信慶(1年)	07:32.4	16	関西高校
28	栗山 拓也(1年)	07:51.7	16	関西高校
29	妹尾 涼(1年)	07:54.4	16	関西高校
31	宮本 将伍(1年)	08:05.9	16	関西高校
32	家近 恭平(COX)	08:24.2	17	関西高校
33	山田 龍太郎(COX)	08:39.5	16	関西高校
34	正宗 和也(COX)	09:15.5	17	関西高校

ジュニア強化合宿 in 天竜

12月16日～20日(水～日)、選抜でお馴染みの静岡県天竜川にて合宿が行われた。今年の参加者は浅野と佐藤の二人。15日に新幹線で先生と共に出発した。二段重ねの鰻重を食べ鋭気を養い、翌朝は光明寺で座禅を組み天竜川に向かったが、16日昼の掲示板には先生が「あかん！もうテンパってます。」と悲鳴をあげていた。今年の世界大会はチェコ・ラシ

セ、アジアは中国・広州が待っている。是非とも気張って欲しい。

17日は雪が舞うほどの寒さ、この冬一番の寒波到来。佐藤が『沈』してしまった。体調は大丈夫だろうか？今年伝説の男、佐藤が色々話題を提供してくれそうだ。二年生の他の部員は修学旅行で東京・・・ディズニーシーやら東京タワー、アキバ。北海道でスキーなどと東の間のリフレッシュを楽しんでいる。ニュースでは、この日北海道は-25℃を記録していた。岡山に戻ったら、遊んだ分だけ頑張らないと！！一年生は三年生と仲良く体力づくりに励んでいる。

12月17日 午前 6000m x 2 タイムトライアル

			1本目		2本目		成績	
名前		性別	Time	Rank	Time	Rank	平均Time	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	27:41.17	6	28:40.03	9	28:10.60	9
佐藤 周平	関西高校	M	29:16.88	18			29:16.88	16

12月17日 午後 3000m x 3 タイムトライアル

名前		性別	1本目	2本目	3本目	成績 time	平均 time	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	13:28.40	13:45.02	13:30.23	40:43.65	13:34.55	13
佐藤 周平	関西高校	M	13:41.68	14:11.47	14:10.13	42:03.28	14:01.09	17

12月17日 午後 3000m x 3 タイムトライアル

名前		性別	1本目	2本目	3本目	成績 time	平均 time	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	13:28.40	13:45.02	13:30.23	40:43.65	13:34.55	13
佐藤 周平	関西高校	M	13:41.68	14:11.47	14:10.13	42:03.28	14:01.09	17

平成21年12月18日(木)

天候 : 晴れ

強風のためランニング 上流公民館まで約7km

名前	所属名	性別	Time	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	29:33.48	5
佐藤 周平	関西高校	M	32:36.37	18

平成21年12月19日(土)

SR22 12km

名前	所属名	性別	成績 time	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	0:57:35.29	12
佐藤 周平	関西高校	M	0:59:12.22	19

最終結果

平成21年12月19日(土)

1500m×3

名前	所属名	性別	1st.	Rank	2nd.	Rank	3rd.	Rank	1500mAve.	Rank
浅野 耀典	関西高校	M	05:53.31	15	05:51.47	10	05:59.66	13	05:54.81	12
佐藤 周平	関西高校	M	05:57.31	17	05:56.13	15	06:01.83	15	05:58.42	17

鰻重を食べ岡山に帰って来た。雪と風が吹きすさぶ中、何を感じ体得してきたのだろうか？ 今後は楽しみだ。

祝 結婚！

12月20日(日)、京都・都ホテルにて関西・日大OBで東レ滋賀所属の赤木さんがめでたく結婚披露宴を行いました。今年は2組目！一家の主として、益々のご活躍をお祈りしています。

12月24日(木)、平成21年今年最後のエルゴを回し解散となった。しかし、皆自主練に余念が無い。ここで遊んではライバルに差を付けられてしまう。踏ん張り時だ。厳しい冬を耐え抜いてこそ春に美しい花を咲かすことが出来る。選抜で大輪の華を咲かせて欲しい。

祝 出産！

12月下旬、と言うか29日に先生より聞いたお話。長浜さん第一子誕生！！この日奥様は未だ病院と聞いたので産まれたって事でしょうね。おめでとうございます！

初漕ぎ会&新年会

平成22年1月9日(土)、午前中百間川にて毎年恒例の初漕ぎ会が催された。今年も艇の安全を祈願し、親子での乗艇を楽しんだ。久し振りに森川先生の大きな声を聞いた。

「要領よくせんか！急いで急いで！」

テキパキと交代しながら乗艇が進み、ラストは一年・二年・三年のレース。スタートから二年がトップを死守し、三年は後100m あれば勝てるラストスパートだった。一年生はスタートから艇は蛇行気味で先輩に花を贈った。今年はOB・OB保護者にも声が掛けられたが皆さんご遠慮されたようだ。成人式の為に正月から岡山に残っているはずのOBの姿は一人も見かけることは無かった。しかし、一年の安全祈願した直後、操山艇庫の窓ガラスを叩き割った一年生がいたとか・・・今年も波乱含みか？

新年会の会場はプラザホテル、保護者(母)はボート部の正装であるグレーの長渕トレーナーor黒の敢為トレーナーで揃え父はスーツ姿で参加。光亦父の司会で新年会は幕を開けた。先生のご挨拶では2010年のスローガン『喜ばせる』が発表され、感動する事・感動させる事の大切さと勝ち続けるには一昨年より去年、去年より今年とより速くならなければならないと語った。

1・2年生の余興は榎原・光亦の司会で進む。東京 03 やジャパネットたかたのパロディーコント、先輩のものまねの後には「後でトイレに來い！」の突っ込みが入り、バニーガール・ドラエモン・しずかちゃんに扮した仮装ものまで飛び出し、MVPには赤フン姿の1年内田が輝いた。森川先生からの賞品はドイツチームのローサー(1位)明大のローサー(2・3位)明治安田のトレーニングパンツ(4位)と高校生にとっては珍しいものが配られた。

続いてのビンゴ大会は保護者が用意していた賞品の取り合い、机の上に積まれた米袋には驚いた。最後に参加者全員の中から1名折りたたみ自転車が当たった。1年山田、お礼はやっぱり勝つことですよ！

そして、新年会の締め括り。新人戦に出場した暫定対抗クルーに『関西 T シャツ』と今年の寅年にちなんで黒地に金で刺しゅうされた鉢巻が授与され、最後に校歌を唄い閉会となった。

近畿エルゴ大会

1月17日(日) 今日には森川先生の47歳誕生日。祝うべき日に血圧を上げない結果が出る事を望みたい。しかし、既に2年生岸本とT君、1年M君がインフルに掛かり欠席。少し血圧上昇気味で出発を見送った。

入試問題作成中の先生は日曜日の人気の無い、何か出てきそうで怖い職員室で一人本職に専念し、引率は保護者に任せていた。東レ滋賀の体育館で行われたエルゴはレコードも出ず惨憺たる結果で終わった。毎度毎度のエルゴに自分の実力が見えて来てはいても、大きな大会になるほどハッキリしてくるだけに自分というものが突きつけられる。岡山に帰って来れば翌日『おかわり』が待っている。2年生は全員だと！

16～18才

順位	氏名	タイム (2000m)	年 齢	所属
2	佐藤 周平 2年	06:49.4	17	関西高校
6	山地 冬馬 1年	06:57.1	16	関西高校
7	浅野 耀典 2年	06:57.8	17	関西高校
11	井上 和彦 2年	07:00.7	17	関西高校
15	市川 智洋 3年	07:04.8	18	関西高校
18	角南 友基 1年	07:05.7	16	関西高校
19	角南 淳 3年	07:06.5	18	関西高校
20	澤 雄樹 3年	07:07.1	18	関西高校
30	箕浦 良文 3年	07:10.9	18	関西高校
31	守安 寛志 1年	07:11.6	16	関西高校

32	檜原 敬佑 3年	07:13.2	18	関西高校
38	田中 勇斗 1年	07:16.1	16	関西高校
43	村田 潤二 3年	07:17.8	18	関西高校
46	内田 龍昇 1年	07:20.2	16	関西高校
48	高田 一秀 2年	07:21.4	17	関西高校
49	松島 英輝 2年	07:21.5	17	関西高校
51	高嶋 大貴 2年	07:22.7	17	関西高校
71	伊藤 孝行 1年	07:33.5	16	関西高校
72	高木 信慶 1年	07:34.7	16	関西高校
73	鷺北 祐輔 1年	07:35.6	16	関西高校
87	妹尾 涼 1年	07:47.7	16	関西高校

三社参り

1月20日(水)、風邪・インフルなどの為、昨年同様例年より1週間遅れで恒例のお参りが実施された。くしくも暦では大寒の日。一年で一番寒い日とされているが、全国的に小春日和に見まれ沖縄は25℃を越え、早咲きの桜まで咲き出した所があったり、北では氷像製作中氷が溶け出し、花屋では蕾で売るはずチューリップが店頭で満開になった。そんな中、新道山～吉備津神社～吉備津彦神社の約10キロのマラソンをしながら今年一年の願掛けをしていく。きっと皆の願いは同じはず。健康・安全と勝利を願う。

ランクアップ

1月26～28日(木～土)、毎度お馴染みお買い物ツアーです。年末からの弛んだ体の再生、エルゴの悲惨な結果からの復活を誓い毎年の様にこの時期、筋肉を買いに松山へ繰り出します。高校入試のため先生を学校に残し子供達だけで出発。金曜の夕方、空のマイクロバス鬼火弾号にスーツ姿のまま飛び乗って先生は後を追いかけて行った。

今回の買い物ツアーは後援会からのお年玉で、皆、筋肉痛と戦いながらの帰岡となった。

3年追い出しスキーツアー

2月1日(月)、2年振りのスキーツアーはスキーが初めてと言う1・2年生が多く、怪我や迷惑を気にしながらの大山を楽しんだ。大神山神社への参拝をする子もいたようだ。この神社のブレスレット?お守りの数珠はご利益が高くOBやOB保護者の中には持っている人も多いのだ。帰りは湯原で温泉に浸かりホッコリとして帰って来た。もう2月・・・そろそろ3年生が一人二人と姿を消して行く。同志社の合宿は既に始まっている。

そして、この日は選抜組み合わせの抽選会!!!心配のような楽しみな様な日本ボート

協会の HP に UP されるのをドキドキしながら待つしかない。

→→→→組み合わせ発表！！2月4日高体連ボート部専門部の HP。先生の感想は『う～～～ん』だが勝つチームは何処と当ろうと勝ちます！立春を迎えながらも低温注意報並の寒い日に気持ちを奮い立たせるのであった。

禊

2月11日(木・建国記念日)、安仁神社でご祈祷の後、宝伝海水浴場にて海に入る。ボート部恒例の冬の行事。今日は雨・雨・あめ・アメ・・・朝からずっと。最高気温7℃。波の高さ1m。こんな天気でも入るの？

前日から体調不良を訴える森川先生は喉が痛くて鼻水も出るし体もだるいので一日マスクをしていたそう。所謂風邪の引き始め。にも関わらず海に浸かる気満々で今年の願い事を用意している。気力！！としか言いようが無い。

現実には雨と言うよりみぞれ混じりの高波の中、禪一丁の姿で、先生・部員と浅野・佐藤・岸本・松島の四人の父も入水に参加。この人選は実のところ、くじ引きで決まったのであった。50前後のおじさんが好き好んで海に入りたい訳が無い。最初は誰か2人いれば・・・と厳正なるくじ引きの結果岸本・松島父が選出された。しかし、保護者会長が入らないってどーよ！？ってな事で浅野父は佐藤父を巻き込み4人での参加となった。父達は息子の夢に賭ける親の願いを背負って海に入った。自宅に戻るまで氷のように冷えた体を温める事無く、車のシートさえ辛く感じるはずだ。足は例え貝で切れたとしても痛みさえ感じなくなっていた。母もかじかむ手でカメラを抱え、中々シャッターチャンスに押せないもどかしさを経験した。

みんなの願いが今年も届きますように！！

お引越し

2月18日(木)、寒い日が続いていたが春がそこまで来ていると感じさせる百間川から旭川へのお引越しが行われた。4往復かけて艇を運ぶ。今年も岡山に残っている3年生が中心となり作業をした。先生は先日の禊による大風邪からウィルス性胃腸炎を起こし断食？と禁酒生活からやっと抜け出していた。

今年も雨が多く、旭川でも寒さの中追い込むように選抜に向けて練習が行われた。

全国高校選抜大会 in 天竜の巻

3月18日(木)午前8時半出発。鬼火弾号内は居心地が良かったのか爆睡する者が多発し、マジックで顔に落書きされまくりで、絶対眠ってはいけないCOX麻呂正宗と浅野・松島のひょうきんな顔が掲示板に飾られた。1年の角南・山地も口を開けて寝る姿が映し出された。

16時半頃、ボートコースへ到着。初めて見る者にとって広い広いコースはどんな印象を与えただろうか？『突破！行くしかない！！』をスローガンに颯爽と乗り込んだ。

夕飯は『鰻』激美味の鰻重に舌鼓を打つ。明日は配艇。彼らの関西オーラは何色に輝くのだろうか！？やっぱりフンドシの白？？現地では中日新聞を読んだ他校から優勝候補の関西の紹介文に禊の事が書かれてあり「フンドシ事件」勃発。話題を呼んだ様だ。

舵付きクォドルプル

C.正宗 S.佐藤 3.浅野 4.角南 B.岸本

ダブルスカル

S.井上 B.高田

3月19日(金)大会前夜、仕立てたバスに乗り込み関西応援団が真夜中の高速を天竜に向けて出発。バス内は前祝いをするかのようにお父さんたちは飲み始めていたが、お母さんたちは初めての応援旅行にちょっと緊張気味でお喋りに花を咲かせていた。三日間のお天気は21日(日)の傘マークが気懸りだが、子供たちの雄姿を楽しみにしていた。



3月20日(日)大会第1日目。子供たちは宿泊先の光明寺で朝から住職の有り難いお話とご祈祷を受け会場へ繰り出した。

応援団も7時には毎年お世話になっている民家の車庫に到着し、関西カラー青の幟と横断幕の準備に余念が無かった。しかし、8時に会場に流れたアナウンスは驚愕の事実を告げていた。応援団は何をアナウンスしているか理解できず周囲のざわめきの中本部へ続く道を歩き始めた。途中、ミネルバのショップから声が聞こえてきた。

「今日中に全部売ってしまわなきゃ！」

何事かと聞くと、今日一日で大会を終了するという。慌てて本部に確認をしに急いだ。予選順位1位が決勝に進出、予選2位が順位決定戦へ進むという。敗復無しの一発勝負。1日で2000m2本を漕ぐ事になったのだ。理由は明日の暴風雨による影響と既に満水状態となっているコースが設営されたダム。更に上流にあるダムも満水状態で直ぐにも放流を開始しなければならぬ危機的現状があった。3年前の苦い経験から大会途中、中止だけは回

避する為の苦肉の選択であったと思う。後に英断だったと関係者から評価を受ける。しかし、この事は応援団よりも各校の監督と選手たちの方に大きな動揺を与えたのではないだろうか？予選 1 本のみと考えていたのだから心の準備・切り替えと決勝のためにとって置いた森川先生の勝負パンツ・・・は履いていない。そして、会場に向かう途中の OB 保護者。都合で 2 日目・3 日目の応援予定を立てていた現役保護者と激震が走った。また、試合予定時間も変更になる可能性も示唆され情報が錯綜したが、予選は当初の時間通り行われる事になった。

少年男子舵手つきクオドルプル

Race No. 11 予選 1 組

天候：晴 / 風向：西 / 風速：0 () 内はラップ間タイム

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
1	北海道	釧路工業高校	6 着	1"39'17 (-)	3"25'73 (1"46'56)	5"18'55 (1"52'82)	7"14'86 (1"56'31)	-
2	愛媛県	今治北高校	3 着	1"37'09 (-)	3"17'20 (1"40'11)	4"59'27 (1"42'07)	6"44'07 (1"44'80)	-
3	岐阜県	加茂高校	2 着	1"34'55 (-)	3"13'35 (1"38'80)	4"54'93 (1"41'58)	6"38'44 (1"43'51)	順位決定へ
4	岡山県	関西高校	1 着	1"34'12 (-)	3"10'94 (1"36'82)	4"49'80 (1"38'86)	6"34'18 (1"44'38)	決勝へ
5	石川県	小松高校	4 着	1"38'78 (-)	3"19'57 (1"40'79)	5"00'51 (1"40'94)	6"44'21 (1"43'70)	-
6	埼玉県	浦和高校	5 着	1"40'81 (-)	3"24'64 (1"43'83)	5"05'17 (1"40'53)	6"50'92 (1"45'75)	-

ブッチギリの結果に沸く中、森川先生の分析は進みラスト 500mの弱さが課題として残った。予選 1 組からの決勝進出はどのチームより空き時間があるので体力復活には一番有利だがテンションの持続が保たれる事を祈るしかなかった。

少年男子ダブルスカル

Race No.20 予選 4 組

天候：晴 / 風向：南 / 風速：0 () 内はラップ間タイム

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
1	愛媛県	今治西高校	1 着	1"36'09 (-)	3"19'85 (1"43'76)	5"06'30 (1"46'45)	6"55'69 (1"49'39)	決勝へ
2	京都府	朱雀高校	5 着	1"44'38 (-)	3"33'93 (1"49'55)	5"26'21 (1"52'28)	7"20'64 (1"54'43)	-
3	宮城県	石巻工業高校	2 着	1"40'17 (-)	3"27'81 (1"47'64)	5"14'89 (1"47'08)	7"08'04 (1"53'15)	順位決定 へ
4	岡山県	関西高校	3 着	1"41'72 (-)	3"31'06 (1"49'34)	5"18'46 (1"47'40)	7"12'24 (1"53'78)	-
5	埼玉県	市立川口高校	6 着	1"44'73 (-)	3"42'92 (1"58'19)	5"32'39 (1"49'47)	7"27'35 (1"54'96)	-
6	福岡県	東筑高校	4 着	1"48'71 (-)	3"38'18 (1"49'47)	5"27'34 (1"49'16)	7"20'44 (1"53'10)	-

天竜の風に散ってしまった。

少年男子舵手つきクオドルプル

Race No.36 決勝 1 組

天候：曇 / 風向：西 / 風速：0 () 内はラップ間タイム

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
2	千葉県	小見川高校	1 着	1"32'70 (-)	3"11'28 (1"38'58)	4"50'67 (1"39'39)	6"29'52 (1"38'85)	優勝
3	福井県	若狭高校	3 着	1"34'92 (-)	3"12'68 (1"37'76)	4"52'39 (1"39'71)	6"34'22 (1"41'83)	3 位
4	岡山県	関西高校	2 着	1"34'41 (-)	3"12'48 (1"38'07)	4"50'90 (1"38'42)	6"29'59 (1"38'69)	2 位
5	宮城県	石巻工業高校	4 着	1"38'14 (-)	3"21'50 (1"43'36)	5"04'00 (1"42'50)	6"47'76 (1"43'76)	4 位

公表されたラップタイムでは分からないドラマがあった。0.07 秒差・・・悔やむに悔やみきれないやるせなさを感じる。選抜 3 連覇挑戦は 2 度目で平成 16・17 年連覇の後 18 年に準優勝という結果が有り、当時の若山チームと同じ辛酸を舐める事となった。ただ、若山チームはダブルで優勝を決めていたので大分感じは違っている。

上流のダムからは少しずつ放流が始まっていた。それはオレンジのブイに当る水が証明していた。応援団の目の前に現れた時、2 番目か 3 番目か分からない状態に渾身の応援を、出来るだけ大声で叫び続けた。クルーもそれに答えるかのようにスピードを上げて 1 艇身差のあったトップ小見川に追いつがって行き、一旦は差を広げるかのように踊り出たが、ラスト 50m、2 艇は並び漕ぐ度にトップが入れ替わる激戦となった。ゴール直後、佐藤が手を上げ正宗も立ち上がりかけ、つられる様に浅野と角南が手を挙げたので優勝したと思わせた為、応援団は一瞬歓喜に沸いたが結果のアナウンスに愕然と固まった。結果はラスト 50m の攻防に競り負けていた。0.07 秒とはどれくらいの差なのだろうか？何センチ？何ミリ？・・・勝ちたいと思う気持ちの差。ゴール直後の森川先生は首をかしげていた。手を上げてしまったクルーにむしろ恥ずかしさを感じる結果となった。

表彰式では隣に並ぶ黄色の T シャツを着た小見川のクルーに「おめでとう」と声を掛ける浅野の姿に子供たちの悔しさと切なさを感じる保護者だった。

この日の掲示板に子供たちは反省と選抜 3 連覇を逃してしまったお詫びと『リベンジ』・『捲土重来』を謳った。

3 連休の初日で渋滞に巻き込まれ、試合が終わって天竜に到着する OB 保護者もあり、最終日を予定していた方もいたであろう。1 泊しに來ただけになった OB 保護者は空室の出来た浜北ホテルに入った。現役保護者はバスの都合もあり、このまま帰るわけにもいかず 1 泊し 21 日分のキャンセルを告げた。勿論子供たちも光明寺に泊まり 21 日朝、渋滞の高速に乗って帰路に着いた。

が、が・・・ついて無い時はとことん運に見放される様で、東名高速をトロトロ走っていたはずの鬼火弾号が動かなくなってしまった。三好 IC 過ぎで油圧系の故障らしく、ギアが入らない。老体にムチ打って頑張ってきたモモちゃんも疲労困憊したようだ。昭和 60 年産まれで子供たちより年上に成る。高速道路で故障したらどうなるか経験者は少ないだろう。JAF に連絡してもマイクロバスは対象外でレッカーを頼まなくてはならないそうだ。しかも、運転手はレッカーの助手席に乗せてくれるが同乗者は乗せてはくれない。道路公団の人に

「タクシーを呼んでください。」

と、簡単に言われた。三好から名古屋までの高速代を含むタクシー代は想像できないがべらぼうな金額に成る事は固いし、最低 3 台は要る。先生は携帯電話を取り出し掛けた。榎原夫妻は別路線を走っていたので、もう一本掛ける。電話を受けたのは浅野父

「今、何処を走ってますかあ？」

後方だと分かりホッとして

「タクシーは呼びません。観光バスが来ます。」

と告げ笑った。高速の路肩で観光バスに乗り換える集団は人目を引いたに違いない。

先生とモモちゃんは 1 時間以上レッカーを待っていた。天竜から西へ帰る他校のバスが何台走っていくのを見送っただろうか？話題を振り撒いたのは必至だ。名古屋 IC で高速を降りトヨタのお店に 3 月末まで入院した。その後、先生も保護者のバスに乗っけてもらって帰って来た。神様は我々を見捨てていない。ちゃんと幸運も与えてくれている。バスの座席はピッタリ満席になり波乱の選抜は準優勝だったにもかかわらず、めでたし、めでたしで落ち着いた。お後が宜しい様で・・・？

松江レガッタ

お花見には最適の4月第1週の日曜日が毎年松江レガッタである。ほぼ地元の中学・高校・大学・クラブ・企業が競い合う地方大会であるが、関西はいつも招待を受けている。

そして、試合前夜には夜桜の宴が開かれる。例年OB保護者が集うのだが大学生になった息子の応援に埼玉の戸田に行く人も多く(お花見レガッタ)、仕事の都合などで20H高橋父も来られず今年はおじんまりと5人で行われた。森川先生とバスの運転手として参加してくださっている浅野父と・・・スペシャルゲスト、特別参加で高田父を迎えおでん屋『庄助』にて空席待ちをして始まった。入店すると、いきなり女将さんが先生に

「〇〇先生がこの間来られましたよ。」

と声を掛けた。校長先生や試合に来た他の部の顧問が寄っているらしい。この日は『時代祭り』とかで松江の町は賑わっていて店は満席。頼んだ「おでん」はあれもこれも品切れですと言われながらだったがしっかり食べた。

高田父とお話するのは初めてで、「はじめまして。。」の挨拶から始まった。スペシャルゲストの意味は酒の席での冷や汗もんの笑い話？の種として役に立ったかもしれない。この話は前日の2人の部員から始まる。3日(土)の艇の積み込みを少しでもスムーズにとシングル艇からリガーを外して紐でまとめて置いた部員が2人。しかし、これが仇となってしまった。他の艇は積み込み時にリガーを外して乗せていった。呑気に蒜山のサービスエリアでアイスクリームを食べたりしたが、松江の中電艇庫に着いて青ざめた。リガーが無い！！リガーが無ければ艇は漕げない！しかも、借りることも出来ない！だって特別仕様の艇だから・・・怒れる森川先生は納まらない。

「バットやグローブ無しで野球をするようなもんじゃ！！何しに来たんじゃ！？」

直ぐに子供から親に連絡が入り、工作中的の岸本母は艇庫へダッシュ！！写メで間違いないか確認を取り合って高田父が松江にダッシュ！！何とか20分ほど練習は出来たらしい。高田父は4日(日)応援団が乗り合わせで松江に行くための運転を買ってでていたから妻に戻って来るように言われたらしいが、松江に来た以上帰れるはずはない。認識不足とでも言うのが正しいかな？花見の宴に引っ張り込まれた。何と奥さんに連絡・言い訳をしようかと悩んだであろう。

「やっぱり、帰れん。」

とだけ言って、携帯電話を切った。長電話は不利と感じたのだろう。

『ケネデー』に場所を変えると話題はボートから離れ、其々のルーツになった。高田父は私の高校の先輩と発覚！先祖を辿れば親戚かも？先生も辿ればご近所かも？先祖は海賊の可能性ありと、玉野市の特定地域話題に花が咲いた。落合出身の浅野父(先祖はきっとお百姓さん)と出身高校が岡山でさえなく、先祖はきっと商人の19H小西父は中々話に入って来られない。21H光亦父が去年の松江レガッタ以来出沒していた、あの強烈なキャラは人々に印象付けるのでお徳かもしれない。しっかり騒いで帰ったとマスターが話してくれた。この店にもスペシャルゲストが来店・・・モモちゃんです。マスターが餌をやっている猫。

更に電話をしに外へ出ていた先生が良く似た猫を抱いて入ってきた。

「ドアの前で入りたそうにしまったんで。」

娘のチビちゃん、母猫にそっくりだった。2匹ともお行儀が良くて、テーブルの上の料理には決して手を出さない。モモちゃんはカウンターのイスの上でお腹を見せながら居眠りをした。初対面の客が撫でてでも触っても平気で寝ている。酔った勢いで皆、蟹を注文し今年も12時にお開きとなりホテル・宿舎へと歩き出した。同じ方向の高田父はデカかった。座っている時には気が付かなかったが、先生も浅野父も大きいし、153cmの私は一気に小人になった感じがした。♪森の木陰でドンジャラ・ホイ！♪ハイホー！ハイホー♪

4月4日、大橋川特設コース。風も無く暖かで穏やかな朝8時半の高田からスタート。21H保護者に混じり前田が来ていた。入社式もすみ明日から仕事が始まると言う。食品会社なので食事の規制があるらしい。酒蔵がヨーグルト・納豆禁止だった昔みたいだ。今まで食べ食べ！の生活から一変し、戸惑っているように見えた。今日のレースは島根大学から箕浦も参加と聞きビックリ！彼は国体ローサーと関西ローサーを交互に着て出場した。

応援席とレース結果の掲示板とを相変わらず行き来しながら観戦した。佐藤・浅野が決勝へと出艇する頃、掲示板の前でメモっていた私の後ろで男子高校生の会話が耳に入ってきた。

「関西の森川先生ってどんな人？」

「あのサングラス、カッコエエなあ」

「やっぱ、関西は違うなあ」

試合とは全く関係ないところが話題になっている。会話の脈絡がつかめない。関西って都会のお洒落な学校のイメージか？本日の森川先生のサングラスはオークリー(アメリカ製)でフレームが関西ブルーのメタリック、特注だそうだ。このメーカーは元々ゴム製品の会社で自転車のグリップを作っていたが今やスポーツ用サングラスで特許を沢山持っていて、イチローなど有名選手が愛用している。表町のメガネ屋に扱ってあるのを見つけた時、OBが何人か買い求めていたと店員が話してくれた。お値段は・・・軽く東京往復出来ます。

肝心の試合の様子について一言。2年生のピカピカのローサーが眩しかった。クオドA・ダブルBはシャツも関西ブルーでクオドBは気合の生ロー。COXは3年正宗・家近が乗り込んでいた。予選ではダブルBが曲がりに曲がって審判艇が後ろに張り付きレース後注意を受けていた。

いつも通り午後は穏やかだった水面に白波が立ち始め、水しぶきを上げビショビショに成りながらのクオド、本日ラストのシングル決勝レースへの出艇時浅野が

「この波、ヤッペー！！」

と叫んでいた。

シングル 浅野 2位 佐藤 4位 岸本 9位 井上 10位 高嶋 11位 高田 12位

ダブル 関西 B(角南・山地)3位 関西 A(坪井・松島)5位

クオド 関西 A5 位 関西 B7 位

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ホントにヤバイよ。2008 年の流行語『どげんかせんといかん！！』の文字が頭をよぎった。NRM・朝日レガッタに向けて突っ走るしかない！！

第 8 回全国ジュニアボート選手権大会推薦選手決定

4 月 7 日の日本ボート協会 HP に発表されました。今年も関西高校から推薦選手が 6 名選ばれました。世界を目指す子供達の中に入ってどんな成長を遂げるのか？世界へ飛び立つ子が現れるのか？とても楽しみです。

浅野・佐藤・岸本・井上(3 年)

角南・山地(2 年)

NRM(日・立・明三大学レガッタ)

4 月 16 日夕方、岡山空港より出発。寒い雨の中何人かの保護者が見送りに来ていた。山地さんが駐車場から手を振るのが機内からもバッチリ見えたと先生のコメントが有り、2 年保護者へも関西応援団のノリが伝承されていると分かり頼もしささえ感じた。

夜半から東京は雪に変わるとニュースが告げていた。今年の天候不順は人々の服装で表わされている。コートや羽織る人あり、T シャツ姿あり。そんな中、真冬並気温 7℃の東京に薄着で乗り込んだ。今年の宿舎は戸田の国立艇庫ではなく池袋サンシャイン 60 のシティプリンスホテルと豪華だ。池袋駅の東に西武デパート・パルコ・三越、西に東武デパートが有り、60 階建てのホテルは水族館・テーマパーク・プラネタリウム・博物館などが集まった街を構成している。ここで、**迷子事件勃発！** 集団でホームから東口に出てきたはずが、一人足りなくなっていた。

「先生！岸本がいませ～～ん！」 えっ？

「連絡せんか！！！」 誰かが携帯を掛ける。

「どこにおるんじやあぁ！？ 周りに何が見えるんならあ！？」

「あぁ？西口の看板！？ 皆東口に出とるがぁ」

「東口に出たかぁ？何が見えるんか？〇〇の看板か！その看板の下で待っとれ！！！」

無事に保護されました。凄い人ごみの中、構内は縦横無尽に人々が行き交い、少しでも気を抜くとはぐれやすいのは確かだが・・・流石に本人は迷子に成りかけたとやんわりと表現していた。どうやら切符をバッグから出そうと探していた数秒で皆を見失ったらしい。

お決まりの様に今年も子供たちは東口から徒歩 2 分の『シェーキーズ』で食べ放題(2100 円)飲み放題(500 円)に喰らいついた。先生は横浜で大学生をしている息子さん呼び出し息子と息子の彼女と食事。去年は一人寂しく 23 時過ぎにお寿司屋で空腹を満たすだけの食事だったが今年は緊張しながらのお食事会だったそう。

4 月 17 日(土)、池袋から埼京線で約 20 分戸田公園駅に降り立った一行が見たものは・・・

雪！！積もった雪！なごり雪何てもんじゃない！！異常気象もここまで来たか？ってなもんだ。勿論雪遊びに興じた。各大学の艇庫を見学し、配艇練習。夜には OB からの差し入れを有り難く頂いた。3・4 回生とは殆んど面識が無い。どれだけ覚えられたかな？

4 月 18 日(日)試合結果

クォド・・・1位 ダブル・・・2位 シングル・・・4位

全国大会じゃないし、大学対抗戦の前座レースだから「喜び過ぎず」と、森川先生はこの日のコメントを発表した。

日大エイト(18H 若山)の迫力に今年も子供たちは感動を覚えた。

エイトとは COX を含め 9 人が乗艇し、1 人 1 本のオールで漕ぐ(スイープ)。勿論 COX の生の声は全員に届かないのでマイクを通じて艇の内側に何ヶ所かあるスピーカーで聞く。企業・大学では花形種目である。上から見れば、さながらムカデの様でもある。去年のインカレ優勝タイム 5'51 (日本大学)、全日本優勝タイム 5'50 (27(日本大学)で 2000m 漕ぐからスピードも迫力も凄い。

朝日レガッタ in 琵琶湖の巻

4月29日(木)前日の強風で艇が吹っ飛び破損が出た旭川で午前中から積み込みした後、昼食を吉野家で済ましてから瀬田に向けて出発した。毎年、瀬田と琵琶湖の違いに疑問を持つ方がいると思うので、ちょっと説明しておくかな？地図をお持ちの方は開いてみてください。滋賀県の3分の1を占める琵琶湖の南(下方)に琵琶湖大橋、近江大橋、更に南に瀬田川があります。この川は京都に続いており両岸には京都にある企業・大学ボート部の艇庫が軒々と建てられています。琵琶湖との境目はファミリーマート・立命館艇庫辺りにあるので散策して見つけてみてください。新幹線に乗ると京都駅を過ぎたら瀬田川を越えませんが運が良ければ瀬田工業高校の校舎の脇で練習しているボートを見ることが出来ます。学校が川の側なんて羨ましいです。旭川や百間川へチャリで行く子供たちは大変ですね。

話が反れてしまいました。夕方には到着し、ここでも関西OBからの差し入れを有り難く頂きました。先生は案の定、いつもの『霞』(メッチャ旨いお好み焼き屋)で19H 植田と21H 澤と会食に出かけていた。

遂に今年も怒涛の5・6月がスタートする。4月30日配艇・練習。琵琶湖は荒れていた。三角波に苦心しながらの練習は、今まで経験した事の無いほど艇は進まず明日からの試合に向けて一段と気を引き締めていかななくてはと感じた。

5月1日(土)、快晴。大会期間中は好天に恵まれそうだが風が気懸り。応援ブースは去年迄のベンチの側から移動していた。一般の観戦客が座れるようにと気を使っての事だ。右隣に中学生を挟んで熊学、左は京大の応援団。

シングルスカル

予選1組 9:28

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	池田 (高島高校)	棄権	-	-
2	正垣 (熊本学園大付属高)	2着	3分48秒61	準決勝へ
3	北尾 (鳥取東高校B)	4着	4分12秒32	-
4	高田 (関西高校C)	1着	3分48秒13	準決勝へ
5	熊谷 (美方高校漕艇部)	3着	4分00秒53	準決勝へ
6	室田 (東舞鶴高校B)	5着	4分12秒83	-

予選 2 組 9 : 36

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	渡邊 (今治西高校)	4 着	4 分 01 秒 64	-
2	岸本 (関西高校 B)	3 着	3 分 46 秒 53	準決勝へ
3	村田 (彦根東 B)	6 着	4 分 39 秒 18	-
4	青松 (東舞鶴高校 A)	2 着	3 分 36 秒 76	準決勝へ
5	長田 (小松明峰高校)	1 着	3 分 36 秒 28	準決勝へ
6	松尾 (神戸科学技術高校 B)	5 着	4 分 31 秒 11	-

予選 8 組 10 : 24

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	大西 (朱雀高校 A)	5 着	4 分 34 秒 96	-
2	矢地 (松江高専)	1 着	3 分 56 秒 81	準決勝へ
3	吉田 (彦根東 A)	6 着	4 分 49 秒 33	-
4	森 (洲本高校)	4 着	4 分 28 秒 56	-
5	高田 (敦賀工業高校 B)	3 着	4 分 02 秒 98	準決勝へ
6	井上 (関西高校 A)	2 着	3 分 58 秒 61	準決勝へ

シングルは全員予選クリア

ダブルスカル

予選 3 組 11 : 34

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	阿賀黎明高校 B	1 着	3 分 51 秒 41	準決勝へ
2	関西高校 B (高嶋・高木健)	6 着	4 分 26 秒 43	-
3	新田高校 A	5 着	4 分 06 秒 06	-
4	京都海洋高校 B	4 着	4 分 03 秒 18	-
5	敦賀工業高校 B	3 着	3 分 56 秒 45	準決勝へ
6	今治西高校 D	2 着	3 分 53 秒 95	準決勝へ

トップでレースを引っ張っていたのだがブイにオールが絡み敗復にまわる。

予選 4 組 11 : 41

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	関西高校 A(坪井・松島)	1 着	3 分 48 秒 53	準決勝へ
2	今治北高校	4 着	3 分 55 秒 69	-
3	膳所高校	5 着	4 分 05 秒 68	-
4	熊本学園大付属高 B	3 着	3 分 53 秒 99	準決勝へ
5	舞鶴高専 B	棄権	-	-
6	津幡高校	2 着	3 分 51 秒 59	準決勝へ

ダブル A もちょっと期待できそうな感じじゃないかい？

舵手付きクォドルプル

予選 1 組 12 : 58

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
2	松山東高校 B	4 着	3 分 53 秒 04	-
3	相生産業高校	3 着	3 分 50 秒 66	準決勝へ
4	若狭高校	2 着	3 分 34 秒 43	準決勝へ
5	松江高専	5 着	4 分 01 秒 33	-
6	関西高校 A	1 着	3 分 30 秒 51	準決勝へ

C. 家近 浅野 佐藤 角南 B. 山地

予選トップタイム！！ 2 着の若狭とは 4 秒差を着けたと記憶しておこう。

予選 5 組 13 : 26

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	関西高校 B	6 着	4 分 00 秒 97	-
2	京都海洋高校	3 着	3 分 51 秒 77	準決勝へ
3	瀬田工業高校	2 着	3 分 49 秒 49	準決勝へ

4	松江東高校A	5着	3分59秒11	-
5	美方高校漕艇部	1着	3分46秒91	準決勝へ
6	鳥取東高校	4着	3分58秒28	-

C.正宗 伊藤 高木信 田中 守安

5月2日(日)、ダブルが練習中に工事現場の警戒ブイにオールをぶつけて折ってしまった。急遽、龍谷大学の増成主将に頼み貸してもらうことになる。あちこちにOBがいて助けてくれている。本当に有り難い事だし、これも森川先生の日頃からのこまめな気遣いの賜物だ。人と人との繋がりは大事にしていかなければ！

ダブルスカル

敗者復活3組 12:19

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
2	関西高校B	1着	3分35秒34	準決勝へ
3	今治西高校E	3着	3分43秒47	-
4	米子東高校B	2着	3分38秒25	-
5	神戸科学技術高校A	4着	3分52秒41	-
6	長浜農業高校	5着	3分54秒71	-

舵手付きクォドルプル

敗者復活1組 13:01

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
2	膳所高校	4着	3分36秒62	-
3	清風高校B	3着	3分36秒15	準決勝へ
4	東舞鶴高校	1着	3分24秒46	準決勝へ
5	関西高校B	2着	3分29秒22	準決勝へ
6	彦根東高校	5着	3分51秒30	-

全クルーが準決勝に進出を決めた。しかし、どこかに不安が残っているのか今年も保護者に『必勝祈願』に行くよう先生からの勧めがあり、京都・八坂神社へ参拝に出かけることとなった。GW、観光客だらけの京都は交通機関の込み具合もハンパねえ！京都駅からバ

スに乗れば祇園で降りられるから八坂さんは目の前なのだが、ギューギュー詰めはお薦めできない。予想通り地下鉄・東西線に乗った。河原町駅で下車し、地上へ出ると高島屋の前。そこから四条大橋を渡り、そびえる南座を右に見て直進。午後 4 時に到着、人ごみを掻き分け参拝をすました。『勝ち守り』は是非頂かないといけない。黒地に金の刺繍で『勝守』と書かれている。どこかで見た配色・・・そう！今年の対抗クルーに渡された鉢巻と同じなのだ。こんな小さな事にも感動を覚え、明日の試合に勝ってくれる事をひたすら願う親心。

今晚の保護者は噂の『霞』で食事をとった。割烹の様なたたずまいの入り口は花が活けられ、水がうってある。小汚い、怪しいガード下に不釣合いだ。中に入れば左手にテーブル席が 4 つ。右手に座敷スペースが広がり、間接照明のせいか薄暗く感じる。さすが 17 時からのお店。お好み焼きの他にも居酒屋を思わせるサイドメニューがあり、飲み放題もある。明日の活躍を期待すると共に親睦を深めた。

5 月 3 日(月)、快晴快晴。気温もぐんぐん上がってくる。

シングルスカル

準決勝 1 組 9 : 28

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	阪口 (立命館高校)	5 着	4 分 04 秒 79	-
2	木田 (大津高校)	4 着	4 分 02 秒 03	-
3	山田 (若狭高校)	3 着	3 分 54 秒 03	-
4	長田 (小松明峰高校)	1 着	3 分 38 秒 46	決勝へ
5	井上 (関西高校 A)	2 着	3 分 47 秒 44	-
6	笠間 (津幡高校 A)	6 着	4 分 10 秒 02	-

選抜優勝の長田君には差をつけられたが、力強い漕ぎで頑張りを見せてくれた。良い漕手じゃないか！？と隣で褒めちぎっているおじさんがいた。

準決勝 5 組 10 : 00

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	加藤 (松江東高校)	5 着	3 分 58 秒 39	-
2	遠藤 (米子東高校)	6 着	4 分 02 秒 63	-

3	福住 (高島高校)	1 着	3 分 42 秒 11	決勝へ
4	岸本 (関西高校B)	2 着	3 分 45 秒 65	-
5	大森 (高島高校)	3 着	3 分 54 秒 23	-
6	田中 (敦賀工業高校A)	4 着	3 分 57 秒 09	-

前半、5レーンの選手が寄って来たことに気を取られもたついてしまった。後半、ピッチを上げラスト 300m 抜いて抜いてトップに迫って行くが一步及ばなかった。

準決勝 6 組 10 : 08

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	坂口 (津幡高校B)	6 着	4 分 04 秒 67	-
2	片岡 (福山 RC)	1 着	3 分 40 秒 11	決勝へ
3	正垣 (熊本学園大付属高)	4 着	3 分 51 秒 90	-
4	高田 (関西高校C)	3 着	3 分 50 秒 38	-
5	高田 (敦賀工業高校B)	2 着	3 分 46 秒 54	-
6	渡邊 (今治西高校)	5 着	3 分 59 秒 20	-

選抜 7 位、松江レガッタ優勝の銀河学園・片岡君とどんな試合を展開してくれるのかと、シングル最後の一人として応援に力が入ったが 3 着。隣の熊学応援団との大声合戦にも火がついた。シングルは全員、琵琶湖の風に散っていった。

ダブルスカル

準決勝 4 組 12 : 09

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	米子東高校B	6 着	4 分 48 秒 65	-
2	松江高専	5 着	4 分 18 秒 66	-
3	松江東A	2 着	4 分 05 秒 99	-
4	高島高校C	1 着	4 分 03 秒 14	決勝へ
5	松山東高校B	4 着	4 分 16 秒 81	-
6	関西高校B	3 着	4 分 15 秒 35	-

準決勝 5 組 12 : 16

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	若狭高	6 着	4 分 38 秒 13	-
2	美方高校漕艇部 B	5 着	4 分 28 秒 91	-
3	津幡高校	3 着	4 分 24 秒 74	-
4	関西高校 A	2 着	4 分 23 秒 34	-
5	大津高校	1 着	4 分 21 秒 29	決勝へ
6	今治北高校	4 着	4 分 25 秒 13	-

舵手付きクォドルプル

準決勝 1 組 14 : 48

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
2	和歌山北高校	3 着	3 分 57 秒 96	-
3	熊本学園大付属高校	2 着	3 分 53 秒 44	-
4	関西高校 A	1 着	3 分 38 秒 51	決勝へ
5	相生産業高校	4 着	4 分 00 秒 80	-
6	松江東高校 A	棄権	-	-

熊学の太鼓の音が響く。負けてはられないと集団の力で声を振り絞った。レースも応援も関西の勝ちだぁね！

準決勝 2 組 14 : 55

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
2	関西高校 B	5 着	4 分 06 秒 46	-
3	瀬田工業高校	2 着	3 分 55 秒 62	-
4	小松高校 A	1 着	3 分 50 秒 28	決勝へ
5	京都海洋高校	3 着	3 分 56 秒 52	-
6	小松明峰高校	4 着	4 分 05 秒 82	-

14:55 のはずが、風のためにアクシデントが続き中学生のレースが1組目の後に大量に挟まり、今か今かと落ち着かない。OBの応援が残っているから、一体何時に引き上げできるだろうか?と時計をチラ見する姿があちこちに出始めた。OBの応援にも余念が無い。

同志社・・・エイト植田(19H) シングル澤(21H)

龍谷・・・付きフォア増成(18H)

岐阜経・・・付きフォア富田(18H) ダブル岸本(19H)

東レの応援もしたが、赤木さんは乗っていなかったと後に発覚。OBも準決勝で姿を消していった。オムニ歯科で出場の竹内父さんと娘・奈々ちゃんまで応援していた。京大と当ると声はかき消されると分かっているけど潤れた喉に鞭打つように叫んでいた。浅野父は既に声が出なくなっており、岸本父や正宗父が交代でデカメガホンを掲げた。17時半過ぎに片付けが始まる。大人に混じって兄貴にソックリな佐藤弟が手伝っていた。

準決勝も終え、残ったのはクオド関西 A のみだが優勝を目指してくれると信じて保護者は前夜祭に突入。今年も石山駅前の『麗門』でグールグールと世界焼きを楽しんだ。応援に来ている OB 保護者にも参加のお誘いが森川先生より有ったのだが皆さんご遠慮申し上げた。先生は 21 時過ぎにミーティングを終えた後、顔を出された。1 時間ほど歓談し 22 時にはお開きとなる。

5月4日(火)、いよいよ決勝の日。私は朝日レガッタに応援参加して4回目になるが雨に出くわさないのは初めてだ。三角波も立っていない。11:45 からなのでゆっくりホテルを出るのかと思いきや、同志社・植田のエイト準決勝(8:22)の応援をするため7時に集合し出発して行った。今日はお留守番の2年生部員も応援にやって来る。日帰り応援のOB保護者の数も膨らむだろう。

舵手付きクオドルプル

決勝1組

レーン	クルー名	着順	1000m	備考
1	小松高校A	4着	3分16秒54	-
2	美方高校漕艇部	5着	3分20秒20	-
3	関西高校A	2着	3分14秒26	準優勝
4	若狭高校	1着	3分13秒26	-
5	敦賀工業高校	3着	3分15秒24	-
6	朱雀高校	6着	3分25秒49	-

トップ争いを繰り広げ、応援団の前では最後の踏ん張りを見せ半艇身出たが、その後伸びる事無くグイグイとラスト50mで若狭に追い上げられ抜かれたのゴールとなった。井上兄がゴール地点で撮ったビデオを見せてくれた。弟の応援やボート部の催しにもよく参加してくれている。

選抜優勝の小見川が出ていないから楽々と優勝しなくては成らないという意見もある中、予選で4秒差をつけた若狭に1秒差で負けた原因を「奢りがあった。舐めていた。」と先生は話された。また、「今年は全国的にレベルが低くチャンスである。」とも、試合前におっしゃっていた。クルーはどう感じただろうか？準決勝で敗退したクルーに誰一人として悔し涙を浮かべている子を見られなかったのも気懸りだ。更に、応援参加の部員を見て、「みんな、おとなしいなあ。」と言うOB保護者がいた。一番元気で、はしゃぐように応援していたのはミニ佐藤。インハイに向けて情熱が爆発する事を期待したい。

現役保護者応援団はガックリ肩を落とし、早朝から車を飛ばして決勝の1試合だけのために駆けつけてくれた方を含むOB保護者にお礼とお詫びをしていた。

「折角、来ていただいたのに申し訳ありません。」

と誤る瞳は潤んでいた。ツライのだ、辛さは痛いほど分かる。今の3年生が入学する前の年、平成19年もやはり中々勝てない年だった。国体までNRMと中国大会などの小さいものでしか勝ててなかった。関西の勝利を期待して足を運んでくれる方々に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。かといって必死に練習に励んでいる子供に過度のプレッシャーは掛けられない。本人達が一番よくわかっているのだから……。不安を口にした時には追いつかないように笑顔で「次は勝てる勝てる！」と明るく励ますしかなかった。まして我が子は漕手では無い。皆のように子供にしてあげられる事などほとんど無い。大量のご飯もプロテインも必要ない。その当時応援に来てくださっていた18HまでのOB保護者の気持ちが今、当時よりも強く有り難く感じてきている。暖かく見守って励ましてくれた事が思い出される。

朝日新聞より

関西V3逸す／決勝、若狭に1秒差

2010年05月06日

■高校男子かじ付きクオドルブル

第63回朝日レガッタ（関西ボート連盟、朝日新聞社など主催、滋賀県立琵琶湖漕艇場）は4日、高校男子かじ付きクオドルブルがあり、3連覇を狙った関西高校が2位に終わった。（保田達哉）

関西高校は朝日レガッタに1992年から出場。2004年から3連覇し、08、09年も優勝しており、後輩に3連覇の「優勝バトン」を渡すはずだった。

決勝を制したのは、関西が予選で約4秒差で勝っていた若狭高校。関西は、前半から突き放す作戦が「出遅れて伸びなかった」（浅野耀典（ようすけ）選手）。中盤でも「差がつかず、焦った」（山地冬馬選手）といい、結局、若狭高に1秒遅れの3分14秒26。森川幸夫監督は「思いきり楽しんでこいと送り出したが、勝とうとして焦りが出た」。

帰路に着いた応援団。高田父は生徒を 6 名乗せて帰った。天下一品のこってりニンニクラーメンは別の意味で子供たちの胃袋に染み渡った。

青年会館を出る頃、山陽自動車道で大きな事故が起こっていた。姫路上り御立トンネル入口付近で 8 台を絡む多重事故により 3 台が炎上し死亡も 3 名でた。火災が鎮火したの 3 時過ぎだったとニュースが伝える。下りも事故の影響で 2 時間の通行止め 18 キロの渋滞となった。後日話を聞いてみると、試合後直ぐに引き上げた 21H 組が走行中に事故の一報をキャッチし、あちこちへ連絡を入れてくれた。彼女たちは三木 S.A で休憩し再び走り出したが姫路東で降りるよう指示された。しかも姫路も大渋滞となっていて時間がかかったらしい。現役の時(新潟国体)から渋滞とは縁が有るようだ。連絡を受けた応援団は山陽自動車道を避け中国自動車道の津山回りで帰って来た。鬼火弾号は知らせを受けていたにも関わらずすっかり山陽道を下ってきてしまったが、どうにかこうにか上手い事道を選んで無事帰岡した。

高島杯百間川レガッタ(春季大会)

5月9日(土)、朝日レガッタから2日間の練習で迎えた試合は関西オンステージであるが、その分自分との戦いに成る。ポイントレースなので各々2回ずつ漕ぎ順位が決まる。

シングル 高嶋・・・・・・・・・・3 '54 "08 3着
岸本・・・・・・・・・・3 '46 "83 1着
備前緑陽高校・・・・・・・・4 '12 "96
東岡山工業高校・・・・4 '12 "96
佐藤・・・・・・・・・・3 '48 "21 2着

佐藤のオールが途中完全に止まった。ブイにあたったのだ。応援団からは確認できず、ゴールを間違えた？腹切った？とぞわめいた。岸本が小さくガッツポーズをしたのが見えた。

シングル 井上・・・・・・・・・・棄権
操山高校・・・・・・・・4 '24 "81
浅野・・・・・・・・・・3 '48 "75 1着
岡山東商業高校・・・・3 '56 "71
岡山東商業高校・・・・4 '12 "18

井上は忌引きによる棄権。このレース 2着の東商・光畑君が後半凄いピッチで追い上げてきた。素晴らしい負けん気の強さだ。

ダブル 関西 A・・・・・・・・3 '36 "15 1着
(高田・坪井)
備前緑陽・・・・・・・・3 '46 "81
東商・・・・・・・・・・3 '54 "85
東岡工・・・・・・・・・・4 '05 "58
関西 B・・・・・・・・3 '38 "42 2着
(角南・山地)

関西 B がひたすら曲がって行く。1200mは漕いでるんじゃないかと笑いを誘うが、アレだけ余分に漕いで2秒半差しかないのもある意味凄いかもかもしれない。

クオド 関西 A・・・・・・・・3 '40 "34 1着
(C 山田 S 高木健 3 内田 2 松島 B 妹尾)
関西 B・・・・・・・・3 '48 "83 2着
(C 宮本 S 伊藤 3 守安 2 田中 B 高木信)

—————昼休憩—————

午後は向かい風が強くなってきたのか漕がバタバタと唸り出す。

ダブル 東商・・・・・・・・・・3 '52 "74
備前緑陽・・・・・・・・・・3 '46 "68
関西 B・・・・・・・・・・3 '33 "11 1着
東岡工・・・・・・・・・・4 '08 "78
関西 A・・・・・・・・・・3 '36 "44 2着

Bがまたまたコースからそれて行く。他の艇の妨害をしていないからレースは成立するもののCOXが必要だね。

ダブルを組んでたった2日の3年チームは後輩に負け、言葉少なく挨拶をした。体格の違いにビックリした。太れない苦しみを抱えているのかもしれない。

クオド 関西 B・・・・・・・・・・3 '47 "57 2着
関西 A・・・・・・・・・・3 '43 "41 1着

COXがいるにもかかわらず、曲がる曲がる。ゴールは連なって同じコースに入っていた。Aクルーは挨拶に来てメダルを母達に掛けてあげた。今日は母の日、周りからは「いいなあ～～～！」の音が聞こえた。

シングル 岸本・・・・・・・・・・3 '59 "82 3着→3位
東商・・・・・・・・・・4 '23 "23
高嶋・・・・・・・・・・4 '04 "46 4着→4位
浅野・・・・・・・・・・3 '54 "95 1着→優勝
東商・・・・・・・・・・4 '07 "28 →5位
佐藤・・・・・・・・・・3 '58 "31 2着→2位

関西対決もさることながら、やはり5位に入った光畑君の気迫に圧倒された。「おりゃあぁあ——！！」と叫びながら2段階スパートを掛けてきた。打倒関西を爆発させていた。見習うべき根性である。

森川先生は伴チャリで土手の上を大声で叫びながら走っていた。新入部員とレースに出していない部員が保護者から少し離れた所で声援を送っている。威勢の良い子がいるみたいで元気の良い声援に保護者から拍手が起こった。

中国大会は6月の5・6日に芦田川で開催される。朝日レガッタに参加せず熊本で合宿していた江津や西市が参加してくる。もっと上もっと上と先生が騒ぐ。百間川から引き上げる時、川原からの坂道を登りきった所に座っている先生に挨拶をしたら、ジュニアに参加する子には世界を目指す意気込みを期待し、6月引退に掛かりそうな子には意地でも残ってみせると強い思いを出して欲しいと真っ黒に日焼けした顔で呟くのであった。

山口合宿

5月14～16日(金～日)山口県の小野湖にて合宿をおこなった。この合宿で自分を知りJOCジュニアやインハイで成果を出すためのヒントを掴むのだ。

2000m真っ直ぐに伸びた滑走路のようなコースは常設され、毎年関西ボート部員を受け入れてくれている。波の無い静かな湖面は絶好の練習場。

今年のヒーローは2年角南だ。初日岸を蹴っていきなり“沈”してしまった。来ていたライフジャケットは膨らまず去年先生が落とした携帯を探しに潜りかけた？いやいや、ジャケットにボンベが装着されていなかったただけでした。洗濯の時、外してそのまま忘れるパターンが多いと思う。2日目には50m毎にオレンジのブイが有るにもかかわらず、コースを反れて反れて山の中に突っ込んだ。木にオールが絡まりもがいていたような。伝説の男に成りそうな予感がして成らない。

帰りは焼き鯖寿司とHOTDOGで腹を満たしながらであった。

ボート部保護者会

5月22日(土)毎年この時期に新入部員の保護者がこのボート部について認識を深くする大事な会である。特にボートって？？？と感じている保護者にとっては衝撃を受けてしまう。まずは、卒業生の進路にビックリ！！有名大学にバンバン入っている。ほぼ聞いた事が無い学校名は無い。熱い熱い先生の話はボート部の歴史・戦績についてが主だが、親も子もハンパな覚悟無しには続けていけない事を感じる。子供の頑張りもさることながら親の頑張りが重要だからだ。昼食1つとっても500円玉一枚と言う訳にはいかない。食事について禁止項目をあげられる度に手抜きが出来ないと悟らずにはいられない。1日ご飯6合には驚愕だっただろう。朝練が始まれば遠くの子は家を出る時間が早くなり、母はお弁当作りに更に早起きに成る。今までの生活がガラリと変わる。また、OB保護者である同志社大学3年植田君の母の話聞く。やっと勝てた秋田国体、皆が自分の子供のような部員全員を案じ喜んだ事、楽しかった秋田ツアーと感動的な話にウルウルした人も出た。親の心配と苦悩を感じたのだろうか？また、2・3年保護者にとっても浅野チームが似た道を辿りつつあるだけに身に迫る思いが有ったかもしれない。帰って息子に良い部を選んだね。と話すのか、あんた続けていけるん？と不安気に話すのか、がんばれよ！！がんばるゾ！！と励ますのだろうか。

注目！

高体連ボート専門部の知らせ

5月24日(月)HPにて発表されたのは、JOC全国ジュニアボート選手権大会についてだった。今年は・・・今年はどうなってんの？と叫びたい程珍事が起こる。選抜の雨に始まり今度はジュニアかよ！！あたしや予選の組み合わせ見ながら「ああでもない、こうでもない」と対戦選手について勉強してたのに・・・。グチグチグチ・・・

まず、開催場所が変更になった。熊本県の班蛇口湖から福井県的美浜・久々子湖になった

のは、熊本のお隣の宮崎県で口蹄疫が流行し、多くの牛さんや豚さんが病気でお亡くなりになり、近所に住んでいた牛さんや豚さんにもお亡くなり頂いていた。ウィルスの拡大を防止する為、行き交う車も消毒の嵐に見舞われていた。そんな中で人が大勢集まるイベントは自粛するべきだろうとの判断によるものだった。と言うより九州に入れない。

場所の変更につき参加者の変更もあり得ると、組み合わせが破棄されてしまった。いきなり小松明峰の長田君と当たっていた佐藤はどう思っただろう。他の部員は？そして、コースも 2000m から 1500m と短くなった。この 500m 差がどんな結果を生み出すのだろうか。不謹慎ではあるけど・・・応援団は可哀相に馬刺しはお預けた。海の幸・湖の幸に変更って事か。これから宿探しの保護者も大変慌てているだろう。

高校総体県予選

5月30日(日)インハイの出場権を掛けた試合だが、関西内部では別の意味を持つレース。3種目制覇は当たり前で、シート争いに3年の力が試されるのだ。

シングル 9:45

備前緑陽	4着	
岡山工業	5着	
坪井	3着	3'56"51
井上	1着	3'51"03
高嶋	2着	3'55"31

体格の差がそのまま順位へ繋がったかのような結果だった。怒涛の5・6月を制した者だけが次へ進める。ミラクルは起こせるだろうか？

ダブル 10:15

東岡山工業	3着	
備前緑陽	2着	3'42"67
関西(S岸本 B高田)	1着	3'39"22

えっ??何で?応援団は慌てた。緑陽と並んでいる。いや、もしかして・・・!!700mくらいから少しずつ差を広げていくものの何故ブッチギリではないのか?オイオイ、ウソだろ?不安が込み上げる。

2人の挨拶は「情けない、王者にふさわしくない試合だった。」高田の色違い(赤と茶色)のガムテで修復したサンダルに更なる哀愁を感じる。

クォドルプル 10:45

関西 C	4着	3'47"51
関西 B	2着	3'42"59
関西 A	1着	3'24"96

(正宗・浅野・佐藤・角南・山地)

岡山東商業・・・・・・・・・・3着 3'43"39

おお！関西に対抗心バリバリで東商が上がって行く。校歌まで歌い出した。聞き覚えの無い歌は新鮮に感じ、クォド一本にチームを纏めたところに今年のチームのやる気を感じた。そう言えば女子も元気に保護者の声援に答えていた。監督交代によって元気になっている。

Aが優雅に通り返した後、あり～～～？関西B・Cと東商が争っている。応援団の声援は叱咤激励、否むしろ喝っ！を入れるような怒りの応援に変わっていった。表彰式を除くと東商の男子が一人貧血？で倒れた。精一杯のガムシャラなレースで力尽きたのだろうか？倒れるまでのひたむきさを関西はどこかへ置き忘れたように思う。早く見つけて欲しい。

掲示板には保護者が「キレの無い試合」と書き込むと「キレも無いけどコクも無い、気の抜けたビール」と森川先生が答えた。今日は帰ってみんな5厘か？母がバリカン片手に家で待っている。かもしれない・・・。

中国大会 in 芦田川

6月5・6日(土日)福山の芦田川で今年も行われる。この大会は中国地方だけの大会なので全国へは繋がらない。しかし、良い刺激にはなる。近県の学校の実力が伺える。毎年関西の対抗クルーはシングル・ダブルでエントリーとなる。

大会1日目予選

シングル 09:20

1. 銀河学院高校・・・・・・・・4'04"60

2. 岸本・・・・・・・・4'06"40

銀河の片岡君との競り合い、一騎打ち。前半トップは譲ったが、後半ジリジリと追い上げ一時はトップに出た。750mからではゴールが分からない。オールはほぼ同時に止まった。3着以下の第二集団は遥か後方24秒～52秒台。

09:30

1. 浅野・・・・・・・・4'02"00

2着の皆実に7秒73の差をつけてのゴール！キャプテンの面目を保った。父は「こんな安心して見られるレースがエエなあ」と本音がぼろり。

11:20

1. 佐藤・・・・・・・・4'22"08

彼のテーマは『絶好調』。2着の鳥取湖陵に4秒70の差をつけて、正に絶好調？先の2人に比べてタイムが遅いには理由がある。朝から風が強いなあと思っていたが、益々強くなり向かい風風速3mで波も立っていた。

ダブル 11:00 角南・山地

1.米子東・・・3 '52 "15

2.関西・・・3 '53 "52

応援団の声援は「真っ直ぐ！」審判艇の注意も見慣れつつある。この2艇の争いだったから曲がらない方が勝ったという感じ。

クオド 12:00 C山田・S高木健・3松島・2内田・B妹尾

1.宮島工業高校A・・・3 '57 "34

2.関西・・・4 '00 "24

風速は2.2m 飛沫を上げながら進んでいく。後半目の前で米子東・宮工を抜いて先頭に出た。そのままそのままと祈るも宮工に抜き返された。しかし、よく耐えて踏ん張った。

全レース2上がり、敗復なしで無事クリア！でも、先生が漕艇委員長をしていたので午後後も身動きが取れない。ここで、『お初』保護者が観光に連れ出すことになった。遠征先で子供と触れ合う事は今まで無かったからビックリ！応援団は試合終了後12時半には部員が来るからと慌しくテントをたたみ、片付けにいそしんだ。鞆の浦、仙酔島へ海水浴に出発。皆しっかり親も知らない間に海パンを持参していた。海開きが未だでも何でも関係ない。30度を越えた真夏日に子供達は集団で海にダイブした。子供達をホテルに送り届け帰宅したのは17時を回っていたという。

大会二日目準決勝

シングル 09:00 2上がり

1.浅野・・・3 '47 "10

2.江津工業高校・・・3 '47 "13

どっちが1着か分からない。試合結果のアナウンスに歓声が沸いた。0.03秒を制した。しかし・・・

09:10

1.佐藤・・・3 '51 "57

2.銀河学院高校・・・3 '53 "10

片岡君に勝ち松江のリベンジに喜んだ。しかし・・・

11:10

1.岸本・・・3 '58 "89

2.岡山東商業高校・・・3 '59 "49

応援団の前をトップで通過していったが、東商の光畑君がピッチを上げて追って行く。そして、光畑君のガッツポーズに1着を取られたのか？それとも決勝

進出の喜びか？試合結果のアナウンスで関西・岸本の勝利にヤッター！

ダブル 9:20

- 1.宮島工業高校 A・・・3 ‘44 “35
- 2.松江北高校・・・・・・3 ‘44 “63
- 3.江津工業高校・・・・・・3 ‘48 “46
- 4.関西高校・・・・・・3 ‘51 “96

今日もよく曲がって行く。右のオールが空を切り艇が揺れているのが分かる。他校がスパートを掛けているのにスピードに集中出来ない。3番手から終盤順位を落とし、ここで敗退となった。ダブルが決勝に進めなかったのは『お初』らしい。

クオド 10:10 3上がり

- 1.広工大高校・・・・・・3 ‘35 “98
- 2.宮島工業高校 B・・・3 ‘38 “77
- 3.西市高校・・・・・・3 ‘39 “11
- 4.関西高校・・・・・・3 ‘40 “23

メンバー変更し、3年3名が乗っていた。残念だかここで敗退。

決勝はシングルのみになったが、2時間という空き時間に退屈という言葉は無い様子。気温は上がっていき日差しも強くなってきた。今日のアナウンスは馴染みの声。森川先生かが喋っている！聞きなれた「え〜〜」とか「ん〜〜」が挟まらないので直ぐにピーンとは来なかった。「あれ〜？この声って、もしかして〜。」

またもや『お初』。シングル艇が手違いで片付けられ艇庫に運ばれたと聞く。リギングから始めなければ成らない。13:20 スタートだったが 20分遅れになると。

シングル 13:40

- | | |
|------------------------|-----|
| 江津工業・青木・・・・・・3 ‘55 “26 | 優勝 |
| 佐藤・・・・・・3 ‘58 “34 | 準優勝 |
| 銀河・片岡・・・・・・3 ‘58 “34 | 準優勝 |
| 浅野・・・・・・4 ‘02 “59 | 4位 |
| 岸本・・・・・・4 ‘07 “47 | 5位 |
| 東商・光畑・・・・・・4 ‘08 “46 | 6位 |



決勝 6名中 3名が関西。上位独占とまでは言わなくも期待が胸を膨らます。750m トップは青木君。其々がラストスパートを掛ける。混戦模様で何がなんだか？まずは巻き返してトップに出て、と佐藤の応援から始めた。浅野が一步遅れてい

るからトップ集団に入れと名前を叫ぶ。一呼吸置いて岸本が5・6位の戦いをして
いた。3人もいると全容が見渡せない。岸本の応援をしていたら、誰がどんな順番
でゴールを決めていたのか分からなかった。

結果の知らせの同着2位には驚いた。こんなの初めてだ！経験した事は勿論、聞
いた事もない。前代未聞の珍タイム！！100分の1秒まで計って同着って……。
準決勝で競った相手と順位が変わっている。波乱万丈の試合結果に困惑するばかり
だ。

6月もジュニアと国体予選を残すのみ。7月の国体中国ブロック大会では中心をクオドに
集めて闘う。それまでに大幅な進化を目指すしかない。

ダブル優勝松江東・2位松江北・3位米子東・4位江津工・5位宮工A・6位備前緑陽
クオド優勝江津工・2位宮工A・3位広島大・4位西市・5位宮工B・6位松江東

全日本ジュニア in 福井・久々子湖

6月9日(水)午前10時過ぎ、平松父さん運転の鬼火弾号で出発。美浜の早瀬漁港にある
旅館『ふじま屋』に宿泊となった。コンビニも何も無い港町だが海の幸が待っていた。リ
ギング中、浅野が鼻血をポトリ……。頭に血が昇るほど戦闘意欲満々、血気盛ん。

6月10日(木)朝から港に揚がったサザエを漁師さんに分けてもらい、取れたてを食す。
自然の清々しい空気の中で海の恵みはまた、格別だろう。今日は配艇・練習。明日のレー
スに向けてイメージをつくりながら漕いだ。午後はOFFとなったので子供達は釣竿片手に
港で晩御飯のおかずを調達に出かける。釣れたのは子フグ・草フグだか箱フグだか、一
般にはリリースしちゃって食べない魚。

その後、4時からの開会式へ向かう。ちやんと関西オーラをバリバリ発しただろうか。シ
ジミ汁とヤマトシジミの貝殻で出来たお守り『幸せを呼ぶ貝』を美浜町より頂く。今夜の
宿の食事は“豪華海の幸”がズラッと並んだ。先生曰く『竜宮城』。かんぱち・平目・サザ
エ etc.・・・どこへ行っても美味しいものが付いて回る。

6月11日(金)、予選が始まる。選手の母たちは6時半に湖畔に到着。朝の冷気を胸いっ
ぱいに深呼吸。素晴らしい環境に期待と不安が交差する。湖と聞いていたが、海水も波も
入って来ている。天候の変化によっては苦戦の可能性は有りそうだ。組み合わせはお見事
なほど綺麗に有力選手がばら撒いてある。どのレースも気の置けない油断できない選手が
いる。2年山地は中国大会から調子が悪かったらしく、とうとうこじらせて肺炎で入院して
しまった為参加することが出来なかった。でも、未だ2年、来年がある。

No.16 10:15

中村 浜松太平台・・・5着 6'50"84

小坂 清風・・・・・・6着 9'57"24

細根 小見川・・・4着 6'27"91 選抜出てんだろなあ
 小瀧 会津・・・1着 6'10"36 マシン2位・選抜ダブル3位
 山崎 諏訪青陵・・・2着 6'17"84
 岸本 関西・・・3着 6'24"63

No.17 10:22

荒井 熊本学園・・・6着 6'47"94
 武田 敦賀工業・・・3着 6'25"25 選抜ダブル4位・・・乗ってたのかなあ
 浅野 関西・・・1着 6'18"03 準決勝へ！！この調子だ！！！！
 鎌倉 銚子商業・・・4着 6'25"77 選抜ダブルは2位・・・乗ってたのかなあ
 庄條 館林・・・5着 3'37"13
 田中 鳥取湖陵・・・2着 6'21"04

No.21 10:50

片岡 銀河学院・・・2着 6'21"31 選抜7位・朝日3位・松江優勝・中国2位
 井上 関西・・・3着 6'22"45
 横山 宇和島水産・・・6着 6'31"00
 鈴木 旭丘・・・1着 6'10"38 マシン10位・11月エルゴ7位
 三好 長崎明誠・・・4着 6'27"10
 奥 柳学園・・・5着 6'29"65

No.25 11:18

門林 桜宮・・・5着 6'39"84
 石畑 米子高専・・・3着 6'20"23
 佐藤 関西・・・2着 6'15"52
 栗山 明治大・・・艇重量不足 と言う事は長田君抜いて1番にゴールしたのか？
 長田 小松明峰・・・1着 5'59"93 言わずと知れた選抜・朝日の優勝者
 佐橋 加茂・・・4着 6'25"46

No.26 11:25

今井 八百津・・・3着 6'25"70
 小野 加茂・・・6着 6'31"41
 正垣 熊本学園・・・5着 6'30"13 マシン6位なのに・・・11月エルゴ9位
 松島 館林・・・1着 6'16"69
 角南 関西・・・4着 6'27"52
 杉田 岡谷東・・・2着 6'21"91

敗者復活 No.39 16:24

齊木	加茂	棄権			
角南	関西	5着	6'23"	34	真っ直ぐ進めたんだろうか？
山崎	諏訪青陵	1着	6'10"	40	
田中	鳥取湖陵	2着	6'13"	91	
越智	今治西	3着	6'16"	97	今年も今治西から越智君が3名参加
杉木	小浜水産	4着	6'20"	12	

No.41 16:38

片桐	小松	4着	6'22"	10	
江藤	日田	5着	6'22"	47	
佐藤	関西	1着	6'12"	22	よっしゃー！準決勝進出
杉田	岡谷東	2着	6'16"	97	
奥	柳学園	3着	6'19"	68	
荒木	熊本学園	6着	6'28"	80	

No.43 16:52

木村	宇和島東	4着	6'19"	09	
鎌倉	銚子商業	1着	6'07"	84	11月エルゴ4位
横田	鳥取東	2着	6'11"	74	
井上	関西	3着	6'16"	15	良く漕いでるんだけどね
正垣	熊本学園	5着	6'20"	70	
中村	浜松大平台	6着	6'28"	36	

No.48 17:27

浅妻	美方	4着	6'20"	73	
岸本	関西	2着	6'17"	17	大学生2名相手によく健闘したゾ
栗山	明治大	1着	6'13"	34	
亀田	立命館大	3着	6'20"	42	
内田	館林	5着	6'24"	28	

準決勝へは2人だけだったが、岸本・井上も順位決定に期待が持てる漕ぎを見せてくれた。日ボに比べて結果発表が遅くてイライラしながら殆んどPCの前で1日過ごしてしまった。未だ暫く明日の組み合わせ発表まで落ち着かない気持ちで過ごさなければならない。今夜は母たちも海の幸で盛り上がるんだろうなあ。明日からは21HOB保護者も応援に駆け

つけてくる。応援も一層盛り上がるはずだ。

美浜の町は猪に侵略されつつある。旅館の前で井上が遭遇してしまった。デカイのが 2 匹。・・・明日のレーステーマは猪突猛進に決定！！

6月12日(土) 本日の森川先生、朝のお散歩は昨日に引き続き旅館傍の港。サザエの味を占め漁師さん声を掛けた。サザエに混じってアワビを見つけ、小さいのをその場で食す。エエ思いをしてるナ！

朝より緊急発表が入った。明日は強風が予想される為、決勝が本日 15 時 30 分より行われる。やっぱり今年は予定通り事が運ばないらしい。

以前から薄々感じてはいたのだが、男子校である関西に女子部が自然発生的に出来ていたようだ。何処の大会に行っても、竹内さんが一緒になるので、応援も自然としていた。保護者も一緒に観戦している様だ。おのずと掲示板にも女子部の情報が掲載されているし、竹内さんから応援のお礼を投稿してくれていた。各地での試合後、応援有難う挨拶もしに来てくれている。人懐っこい性格で 21H・22H 保護者とは冗談も言い合うほど仲良しになっている。同じ岡山代表、仲良き事は美しき哉。

応援団の人数は膨らみ、21H のみならず現役保護者も息子が出ないにも関わらず駆けつけてくれた。ETC1000 円のお蔭でちょっと行って見ようかと言う気にさせてくれる。保護者も毎週毎週の試合で疲れているはずなのに頑張っている。どっぷりボートの魅力に取り付かれた証拠だ。

準決勝 No.54 9:05

宮崎	東濃実業・・・3着	5'40"67	シングル選抜 2 位
奈良	小見川・・・2着	5'38"06	クオド選抜 1 位に乗ってたかも
長田	小松明峰・・・1着	5'36"72	シングル選抜 1 位
小瀧	会津・・・4着	5'41"75	ダブル選抜 3 位
池口	米子工業・・・5着	5'47"64	シングル選抜 3 位
佐藤	関西・・・6着	5'53"46	クオド選抜 2 位

No.56 9:19

山崎	諏訪青陵・・・6着	5'47"36	
古橋	小見川・・・3着	5'42"44	クオド選抜 1 位に乗ってたかも
青松	東舞鶴・・・2着	5'39"66	
小林	小見川・・・1着	5'38"09	クオド選抜 1 位に乗ってたかも
浅野	関西・・・4着	5'45"23	クオド選抜 2 位
山本	今治西・・・5着	5'45"73	ダブル選抜 1 位に乗ってたかも

千葉勢強し！ここまで差をつけられたらグーの音も出ない。ジュニアのトップクラスとの戦いはきっと二人に良い刺激を与えてくれたに違いない。

順位決定 No.62 L組 10:01

小野	加茂	・	・	・	・	・	1着	
内田	館林	・	・	・	・	・	5着	
中村	富士河口湖	・	・	2着				
角南	関西	・	・	・	・	・	棄権	何があった??500mまでのタイムは5番目
片倉	岡谷東	・	・	・	・	3着		
横山	宇和島水産	・	・	4着				

『沈』したのだ。彼の漕ぎは左のオールが遅れ、バランスを崩してしまい右のオールが浮かび曲がって行き、沈してしまう。大きな問題点となっている。

No.70 H組 10:57

今井	八百津	・	・	・	・	4着	5'46"02	
井上	関西	・	・	・	・	3着	5'45"41	
高野	猿投農林	・	・	2着	5'43"03			
浜上	小浜水産	・	・	1着	5'41"68			
小坂	清風	・	・	・	・	6着	5'47"54	
越智	今治西裕	・	・	5着	5'46"90			

2艇身の間で皆ゴールしている。正に50歩100歩!

No.72 G組 11:11

岸本	関西	・	・	・	・	5着	5'45"81	
佐橋	加茂	・	・	・	・	2着	5'38"96	
田中	鳥取湖陵	・	・	1着	5'36"13			
越智	今治西	・	・	・	・	6着	5'58"67	
杉田	岡谷東	・	・	・	・	4着	5'43"01	
武田	敦賀工業	・	・	・	3着	5'42"22		

勝負の世界って厳しい・・・と、つくづく思うのであった。

決勝 No.76 E組 15:37

松島	館林	・	・	・	・	2着	6'10"69	
波多野	阿賀黎明	・	・	・	4着	6'19"17		
山崎	諏訪青陵	・	・	・	3着	6'11"88		準決勝2秒差で浅野が勝っている
佐藤	関西	・	・	・	・	1着	6'08"09	

No.80 C組 16:05

浅野	関西	・	・	・	・	・	5 着	6	'	12	"	68	
栗山	明治大	・	・	・	・	・	1 着	6	'	04	"	98	敗複岸本に 7 秒差で勝っている
古橋	小見川	・	・	・	・	・	4 着	6	'	10	"	17	準決勝浅野に 2 秒半差で勝っている
村元	大沢野工業	・	・	・	・	・	6 着	6	'	15	"	62	
小瀧	会津	・	・	・	・	・	2 着	6	'	06	"	73	準決勝佐藤に 12 秒差で勝っている
松岡	宇和島水産	・	・	・	・	・	3 着	6	'	08	"	23	

総合順位

浅野・・・15 位

佐藤・・・21 位

岸本・・・35 位

井上・・・39 位

角南・・・66 位

「レース毎に成長の跡が見られる。」(先生コメント)

保護者からの投稿は時間と結果だけのあっさりしたものだったが、並べた子との差を見比べると本当に成長していったのが分かる。浅野は 1 回、佐藤は 2 回 1 着ゴールを決めている。ゴールブザーを一番に鳴らす気持ち良さを経験すればテンションも上がるだろう。順位決定に進めば力の差が無い子と対戦していく。対戦相手を見ると自分のレベルが良く分かる。世界には行けなかったが 3 年生は C~H 組までで纏めている。去年までは L とか K も多かったのに。とするなら、先生の言う進化も頷ける。

選手のコメントは「もっと上に行けたのに・・・」と自分のレースに対しての分析が出来ているようだ。

国体県予選

6 月 18 日(日)、怒涛の 6 月最後の試合。これが終われば、一先ずホッとひと息つける。と言っても先生と保護者で、子供達はひと息ついていては困る。毎週のように試合や合宿であちらこちらへ応援について回ったし、旭川の草刈もあった。平日時間が取れば旭川に練習も見に行かなくてはならなかったし、日焼け防止対策はしていたものの紫外線に勝てるわけが無い。今週、梅雨の晴れ間の旭川をちらりと遠くから覗いてみたが 4・5 人の保護者が炎天下の中、日傘も差さずにお決まりの石の上に座っている姿があった。この日はきっと松島母が来ていたのだろう、先生のリップサービスがスーパーメガフォンから川に響き渡っていた。このサービスは絶対生徒を褒めない。自分の息子のことは笑えるが他所様のご子息になると笑っていいものか迷ってしまう。つまり顔が引きつる。女性に混じって正宗父もいた。COX はよっぽどアホウな事をしなければいじってもらえない。練習見学は国体出発まで続く。ここでのお喋りも保護者にとってはとっても良い思い出になる。

さて、今年の県予選に帰って来た OB を紹介しておこう。21 年度卒樺原チームからは日

大に行った COX 岡本とエース光亦。20 年度卒千葉チームからは日大・千葉。ここまでは 3 年保護者も知った顔だ。その上は名前を聞いた事がある様な無いような・・・。

同大 3 年 植田義之 19 年度卒、森本チームの副キャプテンで秋田国体クォドクルー。秋には同志社のキャプテンとしてチームを引っ張って行く。

明大 3 年 草地一真 19 年度卒、森本チーム。エルゴランキング歴代 50 傑で未だに 2 位の記録を残すほど高校時代はエルゴの鬼。ジュニア 5 位で世界大会へ参加している。秋には明治大学のキャプテンになる。

東経大 3 年 味野聡 19 年度卒、森本チームの副キャプテン。秋田国体ダブルで参加。秋には東京経済大学の副キャプテンになる。

日大 2 年 千葉貴司 20 年度卒、キャプテンを務め選抜・朝日・インハイ・国体 5 連覇の 4 冠を成し遂げた。

日大 1 年 光亦裕登 21 年度卒、国体 6 連覇の榎原チームのエース。高校時代ジュニアで世界大会に参加し、アジア大会ではダブルで銀メダル。

日大 1 年 岡本陽平 21 年度卒、COX。高校時代は選抜・朝日・インハイ・国体全てに乗り込み 3 冠に貢献した。

付きフォアは日大で固めるはずだったが、諸事情によりオープン参加となった。

少年男子シングル 9:12

1. 備前緑陽・・・4 着 4 '07 "78
2. 関西 A 高田・・・2 着 3 '56 "07
3. 岡山東商業・・・3 着 4 '07 "21
4. 岡山東商業・・・5 着 4 '17 "56
5. 岡山東工業・・・6 着 4 '23 "40
6. 関西 B 高嶋・・・1 着 3 '52 "78

高田が優勢だと思っていた。今までのエルゴなどの記録は余り差が無いものの高田は選抜・朝日と試合に出ていた。これは・・・引退を掛けた高嶋のテロか？

成年男子シングル 9:48

2. 植田・・・・・・1 着 3 '27 "33
3. 竹内・・・・・・3 着 3 '29 "96
4. 光亦・・・・・・4 着 3 '30 "63
5. 草地・・・・・・2 着 3 '28 "43

植田が先行しレースを引っ張って行き、草地が出遅れていたがラスト 200m ターボエンジンが火を噴いたように追い上げを見せ、抜いて抜いての興奮する試合展開。上位 3 名がブロック大会出場となる為、2 人でダブルを組む。ダブルは 1 県 1 クルーなので国体出場決定。湖山では他県の様子見となる。

少年男子ダブル 10:12

- 2.操山・・・・・・4着 3'52"37
- 3.備前緑陽・・・・・・2着 3'24"00
- 4.関西・・・・・・1着 3'16"40 S岸本B山地
- 5.岡山東商業・・・・・・5着 4'15"57
- 6.岡山工業・・・・・・3着 3'38"00

前半から攻めの態勢を貫き、後半の粘りとスパートで余裕のゴール。

少年男子クォドルプル 10:48

- 2.関西A・・・・・・1着 3'12"92 浅野・井上など2・3年混合チーム
- 3.関西D・・・・・・3着 3'39"85 妹尾・高木信など1・2年混合チーム
- 4.関西C・・・・・・4着 3'41"65 宮本など1・2年混合チーム
- 5.関西B・・・・・・2着 3'14"18 佐藤・角南・松島・内田・正宗

A・B対決は浅野チームの勝利。後半Bが追いついたが届かず。C・Dは真っ直ぐ進んでなにより。COXの元気な声が印象的だった。ちなみに掲示板の投稿でクルーメンバーを書いてみました。やはり自己申告と自己主張は大事ですね。正宗君はしっかりと全員の名前書いていたからとっても解かり易かった。助かるう～～！

ラストレースの成年男子付きフォアは、予定メンバーと大きく変更した上、昨日1日だけの練習でゴタゴタのまま岡本、植田、味野、千葉、光亦で編成。岡大に負けて2着に終わった。見所は、土手からの先生のリクエストに答えて校歌を歌いながら上がって行った事と部員全員による応援。レース全てが終わると子供達は保護者席へやって来た。表彰式も終わっている。今日は2位までの賞状しか無いが父の日の思い出となっただろう。何と言っても、1・2年部員もしっかり漕げたのだから。

朝からどんよりと雲が垂れ込み、ねっとりとした湿気が纏わり付いてきたが、遂に1時過ぎ突然の雷とバケツをひっくり返したような土砂降りので片付け途中の先生と部員はグッショリと濡れた。今年の試合日の気象状況は本当に厳しいものがある。「試合観戦はなるべく初日から！終わったら、さっさと引き上げる！」のを鉄則にしておいた方が良いナ！！着いたら終わっていたとか、足止めを喰らって帰りが遅くなったとかボヤク前に防御対策。

6月の予定が終わり、先生は早速帰って来ていた日大OBとその保護者を誘って飲みに出かけた。次の日も山陽新聞さん太ホールでの後援会の後現役保護者3名を誘って飲みに出かけた。この2ヶ月の間、週末はほぼ試合や合宿で岡山では大人しくするそう。毎年爆発するようにカラータイマーの補充をするのだけど精神的にはリフレッシュ出来ていいかもしれない。しかし、体は大丈夫なのかと心配でもある。

今年は4年に1度のFIFAワールドカップ。侍日本はベスト16に残り、決勝トーナメントでパラグアイと対戦し0-0延長戦の末PK戦まで持ち込み負けてしまった。しかし、日

本のみならず世界からも『良くやった』の声が上がり感動の渦を巻き起こした。控えの選手もスタッフも岡田監督の元、一丸となつてのチームプレイはチーム森川にも大きな影響を与えたはずだ。夏が来る。夏を制するものが・・・

国民体育大会中国ブロック大会

7月11日(日)鳥取の湖山池・・・・。前日夕方6時掲示板に緊急連絡が発表された。誰にだって予想がつく簡単な結果。天気予報は雨、もう笑うしかない!!!ガハハハハ・・・・。予定も何も有ったもんじゃない!!!またまたまただよ~~~~ん!!!梅雨の時期の山陰で試合?もう冗談にしか聞こえない。

時間変更に合わせてる気は無かったので、決勝に間に合えば良いんじゃないかと当初の予定通り9時到着を目掛けて出発した。日の出は5時。6時過ぎの朝の冷気は、はやる気持ちを冷静にし、中国山脈は霧が流れ水墨画を思わせる。掲示板をチェック。ポイントレースで2回漕ぐと聞いていた。9時8分から7時38分に変更の高嶋が3位か・・・。雨は小降り風は無い。しかし、山陰はこの程度で済むわけが無い。皆様は一体何時に岡山を出たのだろうか?と思いつつ鳥取大学の看板を探しながら進み、メール受信。湖山池の看板にたどり着き線路を跨げば・・・携帯が鳴る。内容はどちらも・・・試合中断。えっ?!ボート置き場の向こうに見えたものは、海。絶対池じゃナイ!!!荒れた瀬戸内海だ!波がバシバシ飛沫を上げて打ち寄せている。とり合えず車を停めた。車を停めて人だかりの中に紛れ込む。人だかりはチーム関西とOB保護者が中心になっていた。岸壁を見下ろせば水でいっぱい満たされたクォド艇。コンクリートの岸壁にぶつからない様に大学生がリガーを持って狭い足場の上で波と格闘していた。

今日の試合は男女シングル2試合だけで中断。原因は波と風。スタート近くにいた艇はゴール近くの艇庫まで戻る途中次々と『沈』して行ったという。関西のクォドはウォーミングアップ中・・・コックスの家近が手を上げているのに保護者が気付いたが、その意味することは理解してなかった。転覆してないし、何だろうかと見ているうちに艇は徐々に沈んでいった。波がドンドン入ってきたのだ。助けを呼んで駆けつけてくれたのが鳥取大生。クルーは次々と艇から離れ最後の家近が脱出する頃には「早く早く」と見ていた保護者もヒヤヒヤした。オールを一番に避難させ、コンクリートをよじ登り、怪我はなかったが、艇を曳航してくれるはずのモーターボートが中々来ない。補漕クルーが小さなバケツとジョロでシートの水を掻き出しながら大学生が何十分リガーを持ち続けたのだろうか、やっと到着したボートはロープを1本掛けるとスタート地点へ艇同士がぶつからない様にゆっくりゆっくりと曳航していった。暫くして、クルーはオールを抱えて艇庫に向かっていった。艇はスタート地点側の砂浜に地元の高校生・大学生などの力を借りて引き上げられた。曳航されて30分経ただろうかOBがクォド艇を抱えてやってきた。1キロ以上の道のり、艇を抱える左右の肩を時々持ち替えながら伴チャリの先生と艇庫へと去っていった。

傘を差してられない風の中、旗も横断幕も危険と思い杭だけが地面に刺さっていた。試合はいつ再開されるかめどが立たず、12時にはどうするか発表があるだろうとウロウロするしかなかったが11時過ぎにやっと中止が発表された。来週に延期となったのだ。日曜が休みでない保護者は、どうやって会社に頼もうかと頭を抱える。試合予定日は早くから休みの希望を出してお願いするのだが、突然の休み希望はシフトの交代を誰かに頼まなくてはならないので気も重くなる。決して、応援に行くのが迷惑だとは思っていない。可愛い息子の応援に行きたいから悩み、職場の上司にお願いし、同僚に頭を下げる。2年角南母のポツリとこぼれた言葉が

「来週お休みどうしよう・・・。」

保護者、特に母が抱える仕事とのやりくりは毎年誰もが持つ悩みだけど、今年は尚一層のしかかってくるように感じる。3連休の保護者は中日なので一寸ほっとする。あっ、OB保護者は？東京(明大)京都(同大)からの交通費がもう1回必要になった？ギャン!

モチベーションとテンションと延期は心配もあるが、ピンチをチャンスに！マイナスをプラスに考えて、其々、岡山に帰るのだった。今回はH10西村君が鬼火弾号の運転手として参加していた。卒業して何年経っても手を貸してくれるOBがいてくれるのは財産だ。部員達に新鮮な風を吹き込み意見もしてくれていた。植田や草地との会話も刺激になっていた様だ。

さて、1週間しっかり練習できたかと言えば、否。毎日雨が降る。それも、警報が出るほどの豪雨が続く。九州・中国地方と岐阜では床下浸水や土砂崩れのニュースが毎日報道されている。14日には新幹線までストップし、在来線は徐行を余儀なくされ、この状態では川で漕げるわけが無い。ダムの放流で旭川の艇は避難し、虚しく濁流を見守るしかない状態で、このままでは練習せずに試合を迎えなくてはならない。こんな不安を持って湖山には行けない。

木曜日、森川先生は大雨警報中の増水した百間川で子供達を漕がせた。国土交通省のおじさんに止められながらもオールを持たさずにはいられなかったのだ。保護者も毎日天気予報と大雨被害のニュースに嘔り付く。土日の試合当日は雨も上がり梅雨明けのようだが、練習が出来るだろうか？53号線は無事だろうか？

17日、天気は回復した。だが風は収まっていなかった。土曜日、先生がオープンスクールの模擬授業担当だったので午前中は百間川で練習し、今回も西村さんが同行しての湖山行きとなった。到着してみれば波が立ってどの県も練習は出来なかったと聴き、関西は練習したぞと、ラッキーにも感じた。午後7時過ぎ・・・『緊急連絡』発表！ザワザワリ・・・またしても時間変更。6時10分スタート？？？はあ～～～？一発決勝となった。

18日、1時おきの2時半出発で応援団は岡山を発った。OB選手は帰ってこなくても良くなったので被害者は2名減ったとは言え、悲寂交々。時間変更は続きがあった。10時36分で、しかも500m勝負。500mって言ったら、スタートダッシュしたかと思えばゴールしてしまう。スタート失敗で遅れたら取り戻せるかどうか心配。持久力は宝の持ち腐れ？

しかし、さらに時間変更に襲われた。念を送るもレースしてなかった。今度は13時。でもやっぱり中断……。1時30分やっとスタートしていた。

舵付きクォドルプル

- 1位 島根県
- 2位 広島県
- 3位 岡山県・・・何とか国体出場決定(家近・佐藤・浅野・角南・井上)

ダブルスカル

- 1位 広島県
- 2位 島根県
- 3位 岡山県・・・残念ながら(岸本・山地)

シングルスカルは先週の試合で決まり

- 1位 鳥取県
- 2位 広島県
- 3位 岡山県・・・残念ながら(高嶋)

ダブルのOBは帰って来なくても良くなったらしく、前期試験に励んでいた？2週に渡っての試合も終わり、先生も選手も応援団もへろへろになって岡山に帰ってきた。もう何もする気力さえ残っていない。食って寝る。それだけ……

次の日はOFFかと思いつながらも、この結果なら練習しなければなるまいと百間川を覗くと大林さんのコーチング。10時過ぎなのに温度計は35℃を表示しており、冷房の効いた車内から出られず遠めに見守る。佐藤がしきりに漕ぎ方の注意を受けていた。頑張ってくれと祈らずにはいられない。

後日、先生が試合についてコメントを出された。中断と変更でクルーの目は死んでいた。全種目3位なのにクォドが国体出場できるのは6連覇した先輩方のおかげで中国地区は3枠貰えている……後輩の役に立って先輩方は喜んでいるはず。そして、優勝した岡山女子を褒めていました。先生本人は中断ごとの会議で室井管理官と変貌し、やつれていた。今回も西村さんが同行してくれて色々助けていただいたようだ。競漕委員何てやってたら自分のチームのサポートどころでは無いだろう。

来年からは、これを教訓にして芦田川と百間川を交互に試合会場にして欲しいものだ。別に5県持ち回りせんでもエエと思うのよ！梅雨の山陰と遠い豊田湖は外して欲しいよなあ。と、ボヤキともつかないワガママを強く願っている。まあ、開催県の準備が大変だからそうは行かんのは解かるとるが。

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

国体中国大会が終わった途端、今度は連日 35℃越えの猛暑が襲ってきた。毎年最高気温を出す岐阜の多治見では 39℃、40℃と聞くだけで汗が吹き出る数字を出し、1 週間で熱中症が原因と考えられる死者が 100 人を越えていた。天気予報の最高気温なんて日陰の百葉箱の中だ。照り返しの厳しいアスファルトの路面は 50℃にもなる。水上だって照り返しでドンだけ上がっていることか。そんな中、ボート部は必死に練習に励んだ。既に夏休みに入っているのにサマータイムスケジュールで 2 部練だったり、午前モーションで午後はゆる体操やプールにも勤しんだ。

7 月 26 日には 21HOB 保護者が激励に旭川を訪問してくださった。先生は背中をまん丸くし哀愁オーラをバリバリに出していた。そして、「元気を下さい」とブログや掲示板にまで SOS を発しているように感じた。ただの冗談ならいいけど……。

7 月 28 日(水)いよいよ出発!!! と言っても先発隊……紺色のブレードでお馴染みのオール達が発送されたのだ。一言、オール諸君に言いたい。

「子供たちの腹を切るな! 目一杯水を掻いてくれ! どんな力にも折れるな!!!」^{ゆめゆめ} 努努、保護者の願いを裏切らないでおくれ〜。最近、光亦母が午前の練習を見に旭川によく訪れてくれている。理由は息子の後輩の勝利を願うのは勿論のこと

「沖縄行きで日程前後の仕事が休めない人も多いただろうから、代わりになればと。保護者の人数が少なかつたら寂しいジャン。」

OB 保護者も仕上がり気になって仕方が無い。他にもポロポロと姿を現し、こっそり橋の上から見る人もいるらしい。皆、森川大明神のご利益を期待している。午前の部は対抗クルーで試合さながらの迫力で漕ぎ勝利のイメトレ。クォドとダブルが並べて競っている。シングルはサポート(高田)が張り付き新京橋下で休む暇なく往復を繰り返す。先生のスーパーメガフォンは休む間もなく炸裂している。お馴染み「アホウ」「バカ」「カス」の連発と「準々決勝」を連呼していた。

8 月 1 日(日)午後は旭川。対抗メンバー以外は芦田川レガッタに参加。息子は練習で親は広島へと、ねじれ現象が起こっていた。スーパーメガフォンは更にヒートアップし、子供たちの漕ぎも真剣身を帯びてきた。ガムシャラに力強く漕いでいる。母さん達は既に沖縄帰りか?と思うほど日に焼けた顔になっていた。日曜日なので保護者の人数も膨れ上がり、ビデオ撮影する人も多く、おしゃべりも盛り上がった。森川先生は現在『幸夫ちゃん』と呼ばれていた。『将軍様』も庶民的になったようだ(?)。ちなみに去年は『幸夫』だったそうで……。

ラスト 2 日は長距離で総仕上げしようと百間川に場所を移した。百間川は灼熱地獄と化していた。気温と連動するようにボルテージが上がり、ついに先生もブチ切れてしまった。ので、岡山最後の練習は旭川に帰ってきた。数倍百間より涼しい気がする。この 2 週間現

役保護者は勿論のこと OB 保護者も都合がつけば何度も顔を出して見守っていた。仕事前に仕事後に時間を作っては通って来る親心。選抜・朝日と後一步の所で優勝を逃しているだけにインハイでは何とか勝たしてやりたい勝って貰いたいと願う。正宗父が

「選抜、一瞬だったけど優勝したと思った瞬間、抱き合っただけで涙を流して喜んだ、あの何とも言えない保護者が1つになった感動をもう一度！」

と話す。それを聞いた OB は其々、自分達の国体を思い出すのだった。何物にも変えがたい感動と感激、その本物を沖縄で掴んで欲しい。

8月4日(水)7時30分テニスコート集合。今日も朝から惜しみなく太陽が照り付けてくる。駐車場には車が止められるのか？と思うほどで人の数も凄かった。20Hの高木・池田 21Hの前田も顔を出してくれていた。保護者の数も2年部員の保護者がたくさん来てくれたからだろう人だかりが一際大きくなっていて。簡単な挨拶の後、3年保護者の車を引き連れて岡山空港へ出発して行った。空港でも見送り部隊が待っていた。沢山の人の期待を背負ってヒコーキが飛び立っていった。

『めんそ〜れ！沖縄』灼熱の太陽と美ら海の国

飛行機は速く、あっという間に到着～。快適レンタマイクロバスで大宜味村のボート会場に向かう。塩屋湾の側の小学校校庭をボート置き場に使用している。選手の控え室はブルーシートが敷かれた体育館。空港から早速、沖縄の名物を頬張りながらサトウキビ畑をのどかに進んでいった。配艇の終わった会場には全国の代表校のレンタカー・マイクロバスが停まっていた。東京から3泊4日、大阪から2泊3日かけてやって来たバスもある。今回の宿舎は恩納村で、那覇と大宜味村の中程に位置しているが、宿舎から塩屋湾まで1時間ほどかかると言う。島バナナとパイナップル畑、家々の屋根にはシーサーが乗っかっている。

5日は朝からホテルのプールに飛び込んでいた。リギング中、激しいスコールが襲ってくる。波はこの間の湖山の如く荒れたらしい。よし！経験がものを言うときだ！！今の関西に怖いものなど無い。

6日には保護者が広島空港から沖縄に向けて出発して行った。魔女は箒に乗って……。子供達は保護者にあだ名をつけて遊んでいた。いつも黒い服に黒い帽子を被っていたら浅野母は魔女にされていたそうだ。他にも色々本人が知らないところでつけられているらしいが触れないでおこう。親とは有り難いもので現地に着いて直ぐ観光には行かず、沖縄の神様にまずご挨拶をしに行っただ。波上宮(はじょうぐう・ナンミー)はエメラルドグリーンの海に突き出た岸壁の上に建っている。鳥居を潜り、狛犬はどことなくシーサーっぽい。朱塗りの社殿に手を合わせる。海辺と言う事もあり、出船は船上から安全を祈り、入船は航海無事の感謝を捧げる。沖縄の波を制すものが勝利を制す。ってか？安仁神社の宮司さんのお薦めで沖縄一の水の神様だそうです。

子供達は体育館の控え場所から移動していた。村議の方のご好意で選挙事務所の片隅を冷蔵庫付きで間借りする事になった。甲子園でお馴染みこの春、関西と当たった興南高校、沖縄尚学の前監督は関西 OB。岡山の印象は好い様だ。色んな繋がりが色んな出会いをさせてくれ追い風を吹かせてくれる。後に先生宛にお手紙をくれたそうだ。Blog に公表していたが、関西の写真を飾っていたら、次の選挙でトップ当選したと喜んでいらっしやった。

8月7日(土)決戦の火蓋が切って落とされる。天気はどんよりと雲が空を覆う。スコールが時々激しく海に叩きつけカメラのレンズを濡らす。塩屋湾の防災カメラの画面も暗く、選手は豆粒でピントも合っていない。まあ、中継している訳じゃないから致し方ないけど。

11 : 30

23 レース・男子シングルスカル 予選 3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校 井上	02:43:42	03:40:16
2	三重県	津高校 森下	02:43:83	03:41:67
3	大分県	日田三隈高校 池永	02:44:21	03:53:48
4	東京都	早稲田実業学校 小林	02:44:59	04:03:68
5	和歌山県	田辺高校 西川	02:44:97	04:19:76

今日、3度目のスコールの中、見事1位通過を決めてくれた。

13 : 08

S.岸本 B.高嶋

31 レース・男子ダブルスカル 予選 5組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:39:87	03:20:38
2	愛知県	旭丘高校	01:42:81	03:24:17
3	大分県	日田高校	01:48:24	03:31:25
4	青森県	青森西高校	01:53:27	03:41:38
5	茨城県	潮来高校	02:02:52	03:45:39

凄い！ブッチギリレースや！この調子で突き進め！

高嶋はこの大会で一番小さな漕手かもしれない。体重も 57kg(?)と COX 並だ。一緒の岸本もそんなに大きくないのに、とてもデカく見えてしまう。そんな感想を先生に伝えると「カズヤは胴が長いから大きく見えるんじゃない」と笑った。

沖縄のスクールは漫画である。黒い雲の下に雨のカーテンをしてがえてやって来るのが見える。

「来るぞ。来るぞ。荷物をテントの下に避難しよう。」

ポツポツと顔に雨が当りだしたと思えば、ザ————ッ！と激しく降り注ぎ、暫くすると小降りになり虹と共に熱い太陽が顔を出す。これを何度となく繰り返しながらの応援をする。スクールを避ける様に岸蹴りを遅らすクルーもあり

「校歌はエエから、はようスタート地点に上がれ。」

と心配する一幕もあった。校歌の歌声は全然聞こえない。上を向いて口をパクパクしているのが確認できると歌つとるんじゃなあと分かるくらい。雨具の用意もバッチリ、足元は色とりどり、型とりどりのクロックスのサンダル履き。示し合わせたように皆用意していた。

そうそう、今回のインターハイは会場もほんわか、沖縄独特の雰囲気にもまれていた。受付でおばちゃんが渡してくれたパンフレットは藁半紙に予定が書かれホッチキスで留めた簡単なもの。いつもの1000円で購入する立派なものは見かけない。監督・選手は持っているだろう、「〇ページをご覧ください。」とアナウンスが入って来る。そんなページは藁半紙には無い。そして、いつも会場が一番目立っているアレが無い。そう、コカ・コーラ！のぼりとドリンクコーナーが無いのだ。それが一気に長閑な風景に見せてくれているのだ。呑気に成るところか、バテバテにしんどい思いをしているのが先生だ。コースは1000mでも湾岸を行き来するとなると2000m？スタート・ゴールの往復と小学校と出艇場所の往復でチャリが欲しい～！！とブツブツ言いながら吹き出る汗を拭っていた。照りつける太陽に黒い衣類禁止令が発令された。

昼食はスーパーのお弁当を買って来て食べるしかなかったが、値段が素晴らしい！！300円とかで結構美味しいお弁当が買える。400円も出したら食べきれなくなってしまう。物価の安さは遠い沖縄まで来た保護者の財布に優しかった。これでエネルギー補給完了！

波は絶えず審判艇が通った後と言ったほどのものが打ち寄せてくる。残るはクオド！！

14 : 46

C.正宗 S.佐藤.3.浅野 2.角南 B.山地

39 レース・男子舵手付きクオドルプル 予選7組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:34:75	03:12:85
2	熊本県	熊本学園大学付属高校	01:37:32	03:19:47
3	長野県	諏訪清陵高校	01:39:43	03:24:38
4	栃木県	佐野高校	01:55:62	03:51:52

タイムを見ての通り！母の魔法に掛かって絶好調で予選通過。トップタイムとは行かなかったが2番目だ。

保護者の夕飯は沖縄名物ソーキそば。他の沖縄料理に比べあっさりした味付けで豚の角煮が2,3切れ乗ったもの。さあ、明日はOFFだ。何して遊ぼう？

8月8日(日)応援団はグループに分かれて観光に繰り出す。水着はしっかり持参していた。もしかして、ハイレグの人もいた？ビーチ隊はプライベートビーチで海に潜って遊んで、バナナボートでスリルと沖縄の風を堪能する。その後、パイナップル農園に出かけパイナップルの食べ放題。これは後がつらい・・・口の中がイガイガし始める。シュノーケル隊は青の洞窟へ熱帯魚との戯れに興じるはずだったが、長い列に並んでのご案内では楽しめそうに無いので自由に潜って魚たちと交流した。日焼けもシミもなんのその！お姉さんパワー爆発！もう、インハイ応援のノリとは違ってくる。弟・妹を連れた夏休み家族旅行だ。そして、美ら海水族館でジンベエザメを仰ぎ見て、ガラス越しに食用に成りうるエビや魚に喉を鳴らした。

さて、部員たちは、前日配艇の為、10時頃会場でリギングした後、観光に繰り出す。先ずはサトウキビ畑をザワワしていた。掲示板に写る親弟妹のはしゃぎっぷりに

「こうやって美味しいものを食べたり遊んだりできるのも全部俺のおかげじゃな」(佐藤)

「何してるんですか！全種目1位で上がった俺らのおかげじゃから忘れんなよー！」(岸本)とコメントを載せた。そして、コオリ島への長い橋を渡り、紅芋アイスを食べながら海に石を投げてみたり、バスの中で先生の帰りをひたすら待っていた。先生は何処へ行ったやら・・・知る人ぞ知る此処にだけしかないステーキに出来るデッカイ食べるアロエの収穫に島の反対側までショップのお姉さん(?)の母の車に乗せてもらって出かけていた。先生の情報収集に抜かりは無く、アロエを知っている事に驚きながら案内してくれた。沖縄の人は皆親切で家の側にしこたま生えているアロエを好きなだけ取って行って良いよとナイフを渡されたので、調子に乗ってスパスパ刈り取った。汁が大量に溢れているアロエをビニール袋いっぱいに入れ子供たちの待っている場所まで送ってもらう。お利口さんにクーラーの効いたバスで待っていた。それから美ら海水族館で大はしゃぎした後、名護パイナップルパークで係りのおばちゃんが困ってしまうほど食べ続けた。1日6合ご飯を食うヤツらだもん、はっきり言って予想外。人間バキュームを見るようだったのでは？

今日は松島の誕生日。パチパチ・・・高校3年の18歳の誕生日を関西のボート部員として、インハイの行われている沖縄で迎えるなんて、中々印象的じゃないですか？一生の思い出になる事間違いなしや！

台風です！本日中止です！

8月9日(月)朝の第一報は五時半「本日台風の為試合中止。午後3時までには今後の予定などの発表をするので注意しておいて下さい。」との事だ。岡山にも7時過ぎにメールが届いた。天気予報は明日も雨、高波注意……。先生も選手も親も「またか……。｣とは思いつつながら心配はつるばかり。8日22時過ぎ台風4号(ディアンムー)が宮古島の南20kmで発生し北に向けて進んでいた。7時には宮古島東北東50km990hPa 風速18m。しかし、時間が経つにつれ風速は速くなっていく。最大30mにもなった。艇はリガーを外され体育館へ避難する。現地からの情報では「雨はポツポツだけど風が強くて、とてもじゃないけど艇が出せる状態じゃないよ。」「ホテルの窓を開けるにも風圧で凄いい力いるし。」

11時半に明日の変更された組み合わせが発表された。準々決勝は無くなり敗者復活したはずのチームは消え、予選2位上りのチームのみで準決勝を行うと言う。予選3位のチームはつらい思いをしているに違いない。被害状況によっては、また変更が行われるかもしれない。全種目1位通過した事が今は力強い心の支えになっている。

で、皆どうしているのかと気になっていたが、保護者はガイドブックを見ながら、パワースポットを探し、神頼みに走ろうとしたが午前中は風が強くて外には出られず、3時過ぎ収まってきたようなので出かける仕度を始めた。二手に分かれて滝にマイナスイオンパワーを充電しに(雨の後で濁っていたけど)、ご神木にパワーを貰いと少しでも不安を消し去りたかった。「まともに漕がしてやりたい。」「1000mを漕ぎきって欲しい。」今年の自然との戦いを象徴するような願いだ。

この日、応援団に新メンバーが加わった。家近君が飛んで来てくれたのだ。力強いCOXの登場に元気付けられた。

子供たちもホテルにいてはテンションも下がってしまうから、こっそりと出かけていた。北谷町の『美浜・アメリカンビレッジ』……。直訳でアメリカ村、沖縄は米軍基地の町だから？嘉手納基地は直ぐ近くにある。ジャスコに飲食店・アミューズメントがある海沿いの施設。スタバ周りは、やはり米軍もたむろしているらしい。

ここで、お世話になっているボランティアの方々も紹介しておこう。地域の皆さんはもとより辺土名高校の生徒が多いみたいだ。沖縄最北端の県立高校で『へんとな』と読みます。プレゼントされた『島ぞうり』は生徒さんが作成したものです。教室で黙々と組み立てている姿は、さながら内職に勤んでいるかのようです。そして、この天候で沖縄のシャーマン『ユタ』まで登場したらしい。祈祷だかお祈りだか長々と唸り声を上げた後で「海が怒っている。」と言ったらしい。ユタさんのお蔭かどうかは別にして、次の日試合は再開された。

8月10日(火)台風は徐々に遠ざかっていったものの、風と波は残っていた。白波が立ち、時折突風が吹く中、試合は始まった。

9 : 58

93 レース・男子舵手付きクォドルプル 準決勝2組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:34:17	03:12:08
2	静岡県	浜松北高校	01:36:19	03:14:79
3	石川県	小松高校	01:38:75	03:18:69
4	山梨県	富士河口湖高校	01:40:35	03:20:09
5	山口県	西市高校	01:41:53	03:24:81

応援団の目の前でスパートをかけ、グングンとスピードを上げて行った。

10 : 56

96 レース・男子シングルスカル 準決勝3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	千葉県	佐原高校 塚口	01:44:52	03:33:22
2	広島県	銀河学院高校 片岡	01:46:45	03:38:94
3	三重県	津高校 森下	01:48:67	03:40:25
4	岡山県	関西高校 井上	01:50:66	03:44:77
5	長崎県	佐世保高専 遠山	01:51:84	03:49:21

叫びながら走る母の声に懸命に漕いだが……。佐原の塚口君はこの後、優勝する。井上はここで敗退となるが、このインハイで何か掴んだようで、国体のシート争いに名乗りをあげる事になった。おっ！楽しみジャン！

11 : 28

100 レース・男子ダブルスカル 準決勝3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	熊本県	熊本学園大学付属高校	01:38:97	03:21:21
2	岡山県	関西高校	01:40:70	03:21:26

3	京都府	東舞鶴高校	01:41:29	03:26:31
4	北海道	石狩翔陽高校	01:43:61	03:28:18

何と！0.05 差とは！！出遅れ(腹切っ)てしまい 2 秒差からのラストスパートは応援団を歓喜させ、興奮させ、結果判定にドキドキした。悔しい惜しい！！あまりの悔しさを水面にぶつけた。

13 : 54

109 レース・男子ダブルスカル 順位決定戦 0 組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	福島県	会津高校	01:38:64	03:19:38
2	岡山県	関西高校	01:40:87	03:21:70
3	静岡県	沼津東高校	01:40:31	03:24:64
4	佐賀県	唐津西高校	01:41:31	03:24:82

むう・・・6位入賞。やはり出遅れ、それでも沼津東を抜いてゴール！後半の凄まじさはいかばかりだろうか。必死の追い上げが目に浮かんでくる。しかし、会津とは意外だった。予選で唐津西に負けていたのに、やっぱり高校生のやる事は分からないものだ。気持ちだけで伸びていくのだから。

14 : 58

117 レース・男子舵手付きクォドルプル 決勝 0 組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:33:68	03:10:28
2	愛媛県	今治西高校	01:34:69	03:13:12
3	島根県	江津工業高校	01:36:47	03:13:94
4	千葉県	小見川高校	01:43:52	03:42:01

勝った、勝った！勝った！！もう何も言う事は無い。勝ったのだから！チームの癌が誰だろうが、小見川が腹切ってオールが折れていたとか、もうどうでも良い！

森川先生は塩屋湾に胴上げの後「ブチ込まれ」浅野保護者会長も「放り込まれ」正宗応援団長も「投げ込まれ」た。更に家近も「ブツ飛んだ」。こうして、熱い熱い夏が終わった。関西ロースーを着ての最後の試合は『優勝』で締め括られた。インハイ前の絶不調から見事に復活した関西クルー！森川マジック恐るべし！！

旭川で約束したお土産を今、私は受け取った。泣きながら「勝った」と叫びあう保護者の声と共に。選抜から苦しめられた目の上のたんこぶ『準』が台風と一緒に飛んでいったのだ。

多くの関西ボート関係者からお祝いのメッセージが殺到した。夕方の OHK『美ら島沖縄高校総体』特集で、岡山で今年初めて団体が優勝を決めたと放送され、森川先生がメガフォンで『神の声』を届ける姿とレース模様、ゴールの瞬間、最後に浅野キャプテンのインタビューが入り、クオドクルー全員で

「それは・・・関西ですから！」

と叫んだ。先生の頭痛特効薬コメカミバンソウコウとクオドクルーの後ろでサポートしていた井上の赤い T シャツと笑顔に目が行ってしまった。

夕食は勿論打ち上げとなった。子供達はホテルのプールサイドで、沖縄の楽器、サンシンを伴奏に知っている沖縄ソングを歌い、優勝杯にお茶やジュースをそそぎ回し飲みし、勢いで三人がプールに飛び込んだ。携帯をポケットにいられたままだったので大騒ぎになった末、高田の携帯だけが機能せず、掲示板への投稿は高嶋の携帯を借りなければならなくなった。先生はオリオンビールを頭から被りながら飲み上げた。一方、保護者も家近を交えて最後の沖縄の夜を楽しんだ。勝利の興奮で今夜は皆眠れぬ夜を過ごすのだろう。台風のせいで予定変更もあり精神的に疲れているはずなのに勝利の美酒はそんなことなど忘れさせてくれるのだ。今はただ感動と感激に酔えるだけ酔えば良い。明日になれば、もう次に進んで行かなくてはならないのだから。

眠たい目をこすりながら、沖縄を離れる日。16時25分の飛行機まで那覇で自由行動。先生は国際通りでステーキに喰らいつく。保護者は2時間ばかり早い広島便に乗るので昼食を食べて帰るだけになる。昼食は「伊勢海老のウニソース焼き」・・・ぐつつつ！情報提供していても私は食べた事無いんだぞ！エエなあ～！それどころか沖縄に行った事さえない。

さて、岡山空港にはお留守番の部員と保護者が出迎えようと待っていた。A4の紙を繋げたお祝いの横断幕を掲げ荷物を受け取り出てくるのを今か今かとドア越しに見つめていた。2年保護者が

「顔が変わっとる。」

驚くように呟いた。これからも引き締まった良い顔に国体まで変化していくのが楽しみだ。大きな荷物を抱え出てくると、一斉に

「おめでとう！！」

と声が上がり、拍手が沸き起こる。先生・浅野キャプテン・岸本・井上が、報告と感謝を伝え最後に佐藤が一言。そして、広島空港から車を飛ばしてきた浅野父(魔王)がお祝いを述べた。取ってきた優勝旗・優勝杯を見せてもらおうと、既に仮のリボンが付けてあり、しっかりと5名の名前が書かれていた。保護者が替わるがわる手にしては写真を撮ったり、撫で回す。後輩たちはどんな思いでそれを見ていたのだろうか。

おめでとう！！チーム関西バンザイ！！

関西2年ぶりV かし付き4人スカル 高校総体

全国高校総体（インターハイ）第14日は10日、沖縄県各地で8競技を行い、岡山勢はボート男子かし付き4人スカルの関西（正宗、佐藤、浅野、角南、山地）が3分10秒28で2年ぶりに優勝、ダブルスカルも岸本宗也・高嶋大貴（関西）が6位入賞した。（中略）



2年ぶりの優勝を決め、喜びを爆発させる関西のメンバー（手前）＝塩屋湾特設ボート場

待望の今季初タイトル 圧勝に歓喜

関西が待望の今季初タイトルをつかんだ。3月の全国選抜、5月の朝日レガッタともに小差で2位に甘んじたボート男子かし付き4人スカルで、2位を3秒も引き離し圧勝。雪辱を果たした選手の目に、うれし涙があふれた。

「前半で勝負を決める」（佐藤）と課題だったスタートから攻めた。ラストスパートのような猛烈な勢いで序盤から飛び出す。リードを奪ってもスピードを緩めず、そのまま他艇を離してゴールした。「これまでで一番の出来」とコックス正宗が自賛する内容だった。

全国選抜は1位とわずか0秒07差、朝日レガッタは1秒差でともに準優勝。一昨年の全国4冠、昨年の3冠の輝かしい実績が重圧としてのしかり「本当に苦しかった」と主将の浅野は言う。大会直前の強化合宿でも調子が上がらず、両大会の銀メダルを森川監督は没収。精神的に追い込まれる中、選手が土壇場で持てる力を爆発させ、この日の快勝につなげた。

次の目標は7連覇が懸かる国体。集大成となるレースに向け「連覇を伸ばし、後輩にバトンを渡したい」と浅野は力を込める。息を吹き返した王者の勢いは止まりそうにない。（2010年8月11日掲載）

写真提供：森川先生

9月9日(木)の『あっぱれ！ジュニア』で再び感動のシフーンが放送された。

全日本大学選手権大会(インカレ)が終わった後、現役・OBの保護者が急遽集まり合同打ち上げが『炙』にて強行された。毎年11月に行われるものと違って人数も少ない為、活発な会話が交わされた。とってもフレンドリーに和気あいあいとお互いの思い出話・笑い話に花が咲き、子供の話しや疑問・相談と話は尽きなかった。国体がいかに大変かを現役に教える・・・という目的の会だったようだが、どこかで少しはしたかもしれない。2年山地・角南父が参加されていたので、保護者会を引っ張って行く為のアドバイスが父親間でなされ、きっと一番役立つ情報だったかもしれない。

思い出話なんぞしていると、フッとその時は気にもしていなかった事が思い出された。あれは・・・お正月の新年会。私は上手い事乗せられて参加した。末席で新メンバーの顔が覚えられればと覗いたが、通されたのは来賓の名目で先生の隣だった。その帰りに1人のお母さんに話し掛けられたのだ。二階の会場ではなく一階のロビーで。今まで挨拶しか交わしたことが無い上、選抜クオド対抗メンバーの保護者くらいしか顔と名前が一致しない時期に、きっと彼女は勇気を出して声を掛けてくれたのだろう。何気ない会話から入り、息子の体の小ささを心配していた。身長も無くコックスになった方が良いぐらいの体重でやっけて行けるのか不安だったに違いない。あれこれ話していたら榎原さんに捕まって、一旦お断りした二次会に連れて行かれたのだが。そう、あの時のお母さんは・・・インハイで6位に入賞した・・・高嶋君！の母。沖縄での入賞は母を一番喜ばせた。

話は戻って、打ち上げの二次会へ向かうため乗り合わせた佐藤母の車には、何と！！関西ボートのでっかいステッカーがしっかり貼り付けられていた。

「小西さんも要りますか？貼るんならあげますよ。」

と先生から有り難い申し出があったのだから

「えっ？今更？」

と失礼な事を言ってしまった。

この後、9月。時を同じくして戸田では全日本選手権が行われ、関西ボート部は合宿に入った。そして、国体まで10日。ドラマの幕開けはもう直ぐだ！

国体強化合宿

8月27日より29日まで山口県の小野湖で合宿。色々厳しいことを言われたようだが結果は国体で見せてもらおう。それよりも・・・

また バスがこわれた・・・

クーラーの故障で火を吹いちゃったとか・・・

クーラーなしで帰ってきた。といっても鬼火弾号では無い。県の強化合宿なのだからチャーターしたバスだ。

シートレースは厳しさを増し、やっと決まっても今度はシートの入替えをグチャグチャといじくり回していた。艇が進まない証拠だ。インハイ後も保護者が入れ替わり立ち代わり練習を見届けていた。

国体前になると全日本選手権を終えたOBが短い夏休みを満喫しようと岡山に帰省して来る。たくさんの差し入れを持って顔を出して来ると、先生も無碍にはできない。ついついしゃべってしまう。そして、ついつい飲みに行く。さあ、もう一週間できってしまった。今年はどうな関西劇場を披露してくれるだろうか？

全国体育大会 in 千葉の巻

♪花も~嵐も~漕ぎこおええてえ~♪うんにゃ！ 遂にこの日がやって参りました。この一年間の集大成！締めくくり、そして重い重いメッチャ重いバトンを次に託す時。汗と涙で漕いで来たからには、このバトンを確かな手ごたえで渡さなくてはならない。この重圧に必死で耐えなくてはならない。眠れぬ夜が幾たびあったらうか。

長閑な太平洋上、船はゆったりと中秋の名月に照らされながら東京湾へと漕ぎ出でた。デッキから眺むれば、トビウオが楽しげに跳ねてゐる。岡を臨めば本土上空には積乱雲が空を覆い稲光が走っているが、それさえも今日の出発を「関西の嵐を巻き起こせ」と祝福しているかの様に感じるのである。

9月22日(水)、午前8時前に多くの現役・OB保護者からの見送りを受けた後、徳島からフェリーに乗り込んだ。翌朝5時着船するまで食事も風呂もすべて船上での生活となる。秋の夜長を過ごすために持参した本は・・・教科書も紛れていたかも知れない。2年角南は『磯野家の謎』。彼の家族構成は磯野家と酷似していると聞いた。今時珍しくも羨ましい大家族だ。時間を持て余し気味の先生を岡山から横目に見て、天気予報に注視する。前線の影響で雷と激しい雨が降っている。今年は旨く事が進まない。何か起きるかもと台風12号発生と進路に凝視していた。25日過ぎには関東から遠ざかって行くらしい。

9月23日(木)、レインボーブリッジを仰ぎ見て橋を封鎖することなく東京湾に到着し、その足で8時過ぎ「すき屋」に雪崩れ込み朝食を済ませた。そして、国体期間中お世話になる「小見川少年自然の家」にチェックインした。レース会場までは徒歩10秒の好立地でも規則は厳しく部員の管理には最適だか引率者にとってある意味地獄かもしれない。飲みには遠出はできそうに無い。今回この宿舎で同居するチームは千葉・愛媛・宮城など本命ライバル達ばかりだった。13時から練習が始まると言うが、小見川も今日は雨。やはり天気がキーワードに成りそう。ともすれば体調さえ狂ってしまう。案の定、関西掲示板に緊急報告が入り、雨と暴風で中止となったと伝えられた。まだ岡山にいる保護者は千葉のお天気が雨マークの連続にもかかわらず、何も無い方が可笑しいくらいにしか感じていない。むしろ、全てを受け入れて明後日応援出発するのを今か今かと燃え上がっている。

さて、今日は何と家近の誕生日。今年は誰か彼か試合先で18歳を迎えている。一足早い胴上げを楽しんだ。ああ、29日の本番、最終日にも高く舞い上がる先生の胴上げをこの目で見て見たいものだ。

でも、やっぱり・・・

26日予選は中止ですっ〜〜！

25日昼過ぎに、先生から緊急連絡の第一報が発信された。それだけでなくイキナリの本番に成ってしまったと心配の聲が上がっていたのに、やってくれるもんだと地球に怒ってみても仕方がないが言わずにはいられない。現地小見川では房総半島が暴風半島と化し、テントは次々と吹き飛ばされ、ブイは切れ、会場はヤバイことになってるとか・・・(先生談)。これでは1日コースの再設営と会場の整備に必要なのだろう。慌てたのは保護者達だ。今夜出発の予定だったから、バス会社に明日出発の変更をお願いし、ホテルは26日分をキャンセルにと大変だったようだ。外から見れば、どうせ仕事の休みは取ってしまっているのだから予定通り出発して26日は観光に当ててしまえば良いのにと気楽に考えるのだが、そうも行かないのが現状らしい。ダブルのOB保護者は予定通り25日夜出発、10時頃成田の東横インに到着。翌日は観光に当て27日の予選と28日を応援して帰るとあっさりしたものだ。しかし、勝ち残ったらどうするんだろうか？？何が起ころうと、どうにかなるさ！の気楽な思考回路は今年関西にとって見習うべきなのかもしれないな。うん。

さて、1日減ってどう変わるのか気を揉みながら半日を過ごしてしまったが、想像通り敗復が無くなったが、それだけではなかった。全てのレースが【+1】上がりと成った。関西クォドのレースは5分の3から4上がりということに成る。一方OBダブルは2上がり・・・って、あれっ？もしかして勝ち上がっちゃったりして・・・。後は、お天気お天気っ

26日(日)、晴れている。岡山は暑さを感じる。子供たちは水上に出られないまま5日が経ってしまった。試合が始まってもないので観光に行くことさえ出来ない。ひたすらエルゴをするしかない。国体に行っているというより合宿か？と思われてしまいそうだ。また、低気圧が近づいてきている。

保護者が午後7時に岡山をバスで出発した。小見川までの長距離を父ちゃん達は静かに飲み始め、母ちゃん達は小学生二人が早く寝られるようにとおしゃべりを早々に切り上げて鋭気を養うことにした。

27日(月)の早朝5時到着した。テント三つを河川敷に並べ立て、一つ目には、ぬかるんだ地面にブルーシートを敷いて荷物をまとめて置いた。後の二つにはイスが並べられ背後の土手の上にノボリを立てた。作業の間も雨はしとどに降り続けている。この一年間天気には悩まされ続けてきた。朝日レガッタ以外まともに予定通り物事が進んだことは無かった。その中で悪戦苦闘しながら森川先生率いる関西チームとそれを支える保護者応援団は多くの苦難を全て受け入れ闘って来た。そして、3年生にとって最後の締めくくりである千葉国体がいよいよ始まるのだ。

出場クルー

舵手つきクォドルプル

C O X
ス ト ロ ー ク
3 番
2 番
バ ウ
補 漕
補 漕

正 宗 (3 年)
佐 藤 (3 年)
浅 野 (3 年)
角 南 (2 年)
山 地 (2 年)
井 上 (3 年)
家 近 (3 年)

《逃げるな、折れるな、貫け！！》

予選は時間通りに進行していた。雨は小雨が降ったり止んだりしている。同じ組には優勝候補がひしめき合っているが、準決勝進出への問題視はしてなかった。お互いの実力を確かめ合うだけだ。

小見川駅はレトロな雰囲気のかにも田舎の駅を表していた。電車も千葉駅からは長閑な田んぼが広がる風景を車窓に映し出し、単線であるが故に対向車両の待合が度々あった。地図で見れば東京の隣、すぐそこにあるかのように錯覚してしまう。しかし、東京から3時間の列車の旅となった。小見川駅からもシャトルバスの乗り場は見えず、会場に向かう人は少なかったが、目立たない看板を頼りに歩いた。同じ目的と思われる人と自然と会話も交わし、長崎少年女子の保護者と大分からの男性と利便性の悪さを話した。会場でのバスの発着場は少年自然の家の駐車場の中なので、着いてすぐに『鬼火弾号』に気づいた。思わずやっと会えた嬉しさに「ももちゃんだ！」と声が出てしまった。そう、岡山を出て12時間が経っていた。

コースへ向かう。桑野造船のテントを皮切りに企業のテント、ミネルバ・ロングレンジの前を通り過ぎると、目の前に川が現れた。川に沿ってテーブルとパイプイスが並ぶ休憩所の巨大テントの奥にお土産のショップがズラッと立ち並んでいた。千葉国体記念のタオルにTシャツ、落花生・クッキー・パイにお饅頭と並び、近くに食事を採る場所が無い為か、トン汁・モツ煮・たこ焼き・チキン・やきそば・おにぎりにパンが売られていた。休憩所の一角にも大塚製薬が協賛しているとありありと分かるように、無料で水・ポカリスエット・ジャワティが置かれ、隣にバナナまで配っていた。配っているオジサンがバナナを頬張っているのには笑った。各県への応援メッセージが書かれたノボリとサルビアのプラントーが会場を飾っている。休憩所の前の道から川を見下ろせば船台がズラッと濁った水の上に並んでいる。波は無い。

750m 地点へ向かう。艇置き場から船台への通路と交差する場所で少し停止をかけられる。ここは岸蹴り(出艇)も間近に見ることが出来るんだ。さらに進むと小見川から直角に引き込まれる用水路を跨ぐ橋が架かっている。橋の真ん中あたりがゴールラインになっている。ゴールの瞬間を見るならここだ。橋を渡りきって上流へと進む。完全に土手の様相になっていて、川の反対側は、田んぼだらけだ。土手の高さも低いので百間川や旭川の土手を連想されては困る。もっとずっと小規模なものです。河川敷はぬかるんでいて川との境目もはっきりしない。

9:26

8 レース・少年男子舵手つきクオドルプル 予選B組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	愛媛県	愛媛選抜	01:32:71	03:10:68
2	岡山県	岡山選抜	01:35:40	03:12:58
3	長崎県	長崎選抜	01:38:44	03:18:77
4	千葉県	千葉選抜	01:37:91	03:19:28
5	富山県	富山選抜	01:40:26	03:24:06

スタートしてすぐに腹切りしたが、中盤追い上げて愛媛を抜きトップに出てきた。しかし、2度目の腹切りによって再度愛媛にトップを譲ってしまったままゴールした。ゴール後、浅野キャプテンがすぐさま振り向き角南の頭をポコッ、ポコッと叩いた。落ち込む角南にまた、ポコッ。先輩の励ましは力強かった。

結果を見ても千葉の4位が納得できない。何があったのだろうか。ぎりぎりの予選通過だ。敗者復活なしの4位上りに助けられていた。愛媛には腹切りが無ければ勝てるだろうとも皆思い込んだ。

OBの応援もあるので、そのままテントで過ごす。防寒着とレインコートに身を包み暖かい飲み物についつい手が出てしまう。晴れ間が見えるとテントから出てきてトイレに行ったり、土手の上で過ごした。浅野母は相当寒さに弱いらしく荷物をまとめたブルーシートの真ん中に潜り込み、いらなくなったダンボールを風除けにしてうずくまっていた。その隣で何故かテントからはみ出し、合羽を着てイスに座り続ける浅野父の姿はジツとしていて微動だにしない。夜行バスの疲れか？

小見川到着が早かったので『香取神社』に参拝してきたと話してくれた。伊勢神宮の系列で本当に立派な社殿でびっくりしたと言う。天照大神が照らしてくれることを願わずにはいられない。

先生も何度か土手の上を自転車で横切って行くのを見かけた。関西チームは秘密の特訓をしにこっそり抜け出すと言うのだ。毎日毎日水上練習が出来ない不安は爆発していた。近場のチームや艇を持参しているチームは潮来の辺りで練習しているのを知っていたので、急遽艇を借りて昨日から漕ぎ始めたと話した。何とか試合までに勘を取り戻してもらわないと、どうにもならないと焦っていたのだ。まだ、この時は明日の組み合わせが出ていない。どこと当たっても間違いなく次への切符を手にするため姿を消していった。

OB 応援で留まっているが、さすがに雨と、ぬかるんだ河川敷を踏みしめていくため、いよいよぬかるみは酷くなるばかり田植えが出来そうなほどだ。折りたたみのイスはテント内にもかかわらず水が溜まり、スニーカーはドロドロで完全に水が浸み込んでいるのが分かる。くるぶしまでのレインシューズもぎりぎりといった感じでいつドロが入ってきてもおかしくないと思われた。合言葉のように

「応援すんだら、ホームセンターで長靴買おうな！」

OB の試合結果

成年シングルスカル 赤木(滋賀)3 位→準決勝へ
成年ダブルスカル 植田・草地(岡山)2 位→準決勝へ
箕浦(島根)4 位→敗退
成年舵手つきフォア 大村(東京)1 位→準決勝へ

この夜、保護者一同ホームセンターに雪崩れ込み、思い思いの長靴を購入した。おしゃれなロングレインブーツにした人も、シンプルに絶対水が漏れない魚河岸で重宝されそうなタイプもありで個性が見える。そして、予選通過で明日からも勝ち続けてと『祈願祭』の飲み会が繰り広げられた。先生もお誘いしたようだが、明日に備えてだろう名将は静かに子供たちと過ごした。

2 日目、1 時間に 1 本という電車の無さから早めに会場に着くと応援団は荷物をまとめていて、ブルーシートの小さな塊が昨日より水量が増し、いよいよ河川敷が無くなりつつある中、ぎりぎりの線で置いてあった。仕方なく休憩所で待機することにした。雨は降ったり止んだりとぐずづついている。あんなに寒かったのに今日は長袖シャツが暑く感じる。湿気のせいでムシムシするのだ。休憩所で貰った、タダの水を飲みながら知っている人は居ないかとキョロキョロしていると成田のホテルからダブル OB 保護者 3 名到着するのを見つけた。昨日帰りがけに早稲田の上谷君を見かけていたので、また誰かに会えるかしらとそっちも楽しみにしている。応援団もそろそろ戻ってきているだろうと 750m 地点へ歩き出した。貸し切りバスからの乗降は川の上流に見える道路らしくいつの間にか応援席が人で溢れていた。

竹内さんを応援した後、また香取神社へ参拝してきたと親はただ祈るしかないのだと切々と心情が伝わってきた。今日の参拝では勝ち守りと境内で売られていたお団子を頂い

て来ていた。この草団子がとんでもなく美味しかった。お餅がとっても柔らかくて、半分は餡が乗せてあり、もう半分は黄な粉をかけて食べる様になっていた。みたらし団子も登場しお腹は一杯で力も湧いてきた。

正宗父がどう見ても現地の農業従事者らしきおじさんとお喋りしている。それも結構長話だ。気にはなっていたが世間話であろうと思っていた。天気が良いければ近在の人々が観戦に集まって来て良さそうなものだが、横殴りの雨では観戦ではなく田んぼの見回りに来たついでに、えらく目立った集団がいるから何だろうかと寄って来たのだろうか。後で聞くとやはり農家のおじさんで昔倉敷にすんでいたことがあり声を掛けてくれたと言う。正宗家は倉敷市民だから話も盛り上がったのだろう。土地の人とのふれあいはやっぱり良いなあ。

さて、関西の出艇を見ようと船台に向かってみる。階段を下りて、船台まで渡してある板が水没してしまっているの、艇を抱えながらすねまで川に浸かり渡った。艇をゆっくりと下ろしクルーが乗り込む。雨が急に酷くなってきた。土砂降りの中を漕ぎ出すクルーに先生が声を掛ける。船台から階段上に登って補漕メンバーと一緒に大きな声で力強い声援を叫んだ。今日の試合がヤマ場だと感じていた。それもそのはず、千葉と再び合間見えていた。先生にとって一番嫌な組み合わせとなったのだった。昨日の千葉は千葉ではない。今日勝たねば明日は無い。と思うほどに力が入っていた。毎年変わるクルーに先生は

《連覇のために頑張ろうとせず、自分達のために頑張れ！》

と千葉に来て言い続けていた。この一度きりのチャンス、自分のために努力しなくてどうする。連覇なんて後からついてくるもの、余計な荷物はいらない。

試合時間が近づくにや応援ブースでは、皆オレンジのジャンパーに袖を通し始めた。ここも千葉に勝って決勝に進んでくれと武者震いを感じながらメガフォンを手にとった。応援団長正宗父が黄色いデカ・メガフォンを片手に今か今かとスタート地点を見つめた。

スタート！遅れずに出たろうか？角南は立ち直り、先生のマジックにかかっているだろうか？考えれば考えるほど不安になっていく。しかし、はっきりと肉眼でレース模様が分かってくると不安は一気に吹き飛んだ。

「出てる！出てる！関西出てる！！」

目の前をトップで通過する艇を力いっぱい応援しながら見送った。やった。勝った、勝った。もう怖いものは無いと安心しきってホッとしていると、先生がチャリに乗ってやって来た。強力なタッチをしながら走り抜けていった。その姿は喜びに満ち溢れていた。

11:52

106 レース・少年男子舵手つきクオドルプル 準決勝D組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	岡山選抜	01:35:51	03:16:34
2	千葉県	千葉選抜	01:36:26	03:18:89
3	大分県	大分県選抜	01:38:07	03:19:36
4	山梨県	富士河口湖高等学校	01:39:51	03:23:07

応援席を後にして、19H 保護者がいるはずの休憩所に向かう。風で橋が揺れている。あこの橋はつり橋だったのか……。休憩所も雨のせいで川に近い前列は雨が振り込み、後列は水溜り。真ん中の列に荷物を置き昼食を採る事にした。地元のおばちゃん達がトン汁を無料で振舞ってくれているので、そのアツアツとおにぎりですぐに済ませた。具沢山のトン汁に身も心も暖まった。可愛そうに現役応援団は基本このトン汁が飲めない。関西の看板を背負っている以上、群がる訳にはいかない。品性が問われるからだ。応援団も少しの間食事しようとやって来た。人数が多いのでさっさと済ませて立ち去っていた。試合まで交代でトイレに行き、おみやげ物屋を覗く。どう考えてもここで買わないと何処にも店が無い。駅前に和菓子屋が一軒あったが植田・草地組はレンタカーなので息子の試合が終わったらダッシュで成田に戻らないと新幹線に間に合わないらしい。

21H 角南母が駆けつけてきた。岡山から6時間半の一人旅をして来た。関西ブースと一緒にOB(赤木・大村)の応援をする。凄い、勝ち上がった。やはり企業が強い。東レとNTT東日本、大学生とはやはりどこか違う。午前中の農家のオジサンがダンボール箱を抱えて再度訪れてくれた。差し入れにとコーヒーや飲み物を持って来てくれたのだ。岡山から遠い千葉の地で心温かいもてなしを受け、やっぱりお礼は関西の優勝ですね。連絡先をメモる姿に思い出が増えたことを喜んだ。

その後、今日の最後の成年ダブルの出艇を見るためにまた橋を渡る。船酔いしそうに感じる。

OBの試合結果

成年シングルスカル 赤木(滋賀)1位→決勝へ

成年ダブルスカル 植田・草地(岡山)4位→敗退

成年舵手つきフォア 大村(東京)1位→決勝へ

今日の気分は晴れ晴れとホテルに戻れるのが嬉しい。シャトルバス乗り場に向かえば『鬼火弾号』の姿が無い。今日も練習？それとも初めての息抜きかな。

帰りの電車で赤木父と一緒に帰った。国体を最後に引退すると聞いた。東レは大卒だと

年齢制限が有り、30歳でボートは終わるのだと話された。これからは仕事に専念しなければならぬ。長いボート生活も明日で終わりを告げる。活躍するOBがまた一人居なくなるとは寂しさを感じる。

さて、応援団も宿に戻り『祈願祭』と称して今夜も盛り上がるのだった。今夜も先生は出てこなかった。心に何を秘めているのだろうか？

9月29日(水)、決戦の日。今日は朝から関西ブースは賑やかになった。夜行バスで旭川留守番組の3年生がやって来て、一緒に香取神社に行ってきたようだ。旭川を守りながらも心は小見川に向かっていて、応援に行きたくない訳が無い。チームの一員として、この一年の締めくくりを見届けに来た。井上の兄も会社を休んで皆と一緒に来てくれた。昨夜、到着した21H光亦母と澤母を交えてOB保護者4人でお団子を頬ばった。そして、もう一品。今日のスペシャルメニューの蜜柑が登場した。『愛媛を食らおう!!』の勢いで、まだ少し酸味のある蜜柑を皆で頬張った。試合が近づくにつれ緊張が応援団を包む。戸田から光亦が来てくれた。ちょっと太って見える。天気は回復し、観客も昨日までとは大違いで、土手の上に連なるようになってきている。対岸もご近所の方達だろう、見物にやって来ている。河川敷の水量は相変わらずでテントは建てられないが、道は水が引けてぬかるみが無くなり、長靴が無くても歩けるようになっていた。来賓席は水の中、長靴を履いて席に着いているおじさんの姿が印象的だ。今年も皇室の方が観覧されるらしく水の中とはいかないので、鉄パイプで櫓を組み巖島神社のごとく水上観覧席が出来上がっていた。喫煙所の傍にあった仮設トイレは浮島と化し、踏む所を誤れば倒れそうになるからと引き返してくる人もいる。橋の袂のトイレまで歩くこととなった。時間が迫ってくる。みんなドキドキしてきて落ち着かない。岡山県のボート協会の方やスーツを来た県庁関係の方だろうか岡山に関係する人々が集まって来た。テレビカメラもやって来る。玉島の『たまテレ』のシールが貼ってある。昨日の快勝で期待は膨らんでいた。

オレンジのジャンパーを羽織り、準備を始める。井上母がゴールで写真を撮るからと、赤いメガフォンを渡してくれた。正宗の叔父さんもスーツ姿で駆けつけてきた。顔にシールを貼った。『KANZEI』とサッカーのサポーターの如く。正宗母は『COX』、佐藤弟は『S.S』と兄のイニシャルにした。一つ一つの行動が全て勝利を願って行われていた。ああ、勝ってくれ！みんなの願いは一つ。

「アテンション、ゴー！」

会場に響くアナウンスに、みんなの視線はスタート地点に向けられている。ぐっと握り締めた手に熱がこもり始めた。

「遅れてる。」

どれくらいの差があるかは分からないが、愛媛に遅れをとっているのは分かった。でも、ここから追いついて抜いてくれると信じて力の限り声を振り絞った。いつもの応援団長が叫ぶリズムを完全にかき消すぐらいの大きな声が渦となりスパートを促すように響き渡った。1艇身差が徐々に縮まっていく。あと少しあと少し、必死にオールが水をかいている。

悲壮な声援に変わっていく。あんなにピッチを上げているのに艇は滑って行かない。3分の1艇身まで詰め寄ったかに思えたが、それ以上縮まることは無かった。そして、ゴール。愛媛のクルーが手を上げて喜んでる。隣でうな垂れている関西クルーがぼんやりと目に映し出された。誰の顔を見ることも出来ない。すぐ隣なのに愛媛の応援団の歓声さえ微かにしか聞こえない。みんなしゃがみ込んで泣いていた。岡山から駆けつけた3年生も皆、青い帽子を目深にかぶり、目を腫らし、声を出さずにむせび泣いた。静まっていた関西ブースにどれくらいの時が経ただろう、長く感じたが、もしかするとほんの少しの間だったかもしれない。ゆっくりと人が動き出すのが感じられ、小さな声でお互いを慰めあい励まし挨拶を交わし始めた。

「3年間、お疲れ様でした。」

「ありがとうございました。」

私達の方にも近寄りお礼を言い始める。何も掛けられる言葉が出てこない。岸本母が来て声を掛けてくれた。

「遠くまで来ていただいて、すみませんでした。」

「6年間、長い間本当にお疲れ様でした。」

と握手を交わした。

11:20

148 レース・少年男子舵手つきクオドルプル 決勝				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	愛媛県	愛媛選抜	01:30:26	03:05:02
2	岡山県	岡山選抜	01:31:94	03:07:22
3	福井県	福井選抜	01:33:67	03:10:07
4	島根県	江津工業高校	01:34:66	03:13:95

インハイ 2 位の今治はリベンジに燃えていたのだろう。素晴らしいタイムじゃないか。関西クルーも精一杯頑張った。更に上を行った彼らの漕ぎを褒めるべきなのだろう。 **Good Loser !**

このまま引き上げてしまいたい気持ちを押し込んで OB の応援をしなければならない。立ち上がり無理やり気を取り直して声援を送った。

OB の試合結果

成年シングルスカル 赤木(滋賀)4 位

成年舵手つきフォア 大村(東京)1 位 **優勝**

チーム関西 準優勝！！おめでとう！！

春の選抜・・・準優勝
朝日レガッタ・・・準優勝
沖縄インターハイ・・・優勝
千葉国体・・・準優勝

こんな凄いチームほかにいますか？

1艇身差 悔しい2位 関西高

ほんの1艇身足らずの準優勝に、5人のクルーは顔を覆い、うつむき、天を仰ぎ、涙した。ボート少年男子かじ付き4人スカルの関西高が、7連覇を逃した。



7連覇を逃し、悔しがるボート少年男子かじ付き4人スカルの関西高＝小見川ボート場

コックスの正宗は違和感を感じていた。「艇が伸

びない」。愛媛に半艇身のリードを許した中間500メートル地点でスパートを指示したが一向に差が縮まらず、ゴールでは逆に0・2秒広がっていた。「硬さがあったのかも」と正宗は振り返る。レースが終わり、陸上から「グッドクルー」と選手に向かって親指を立てた森川監督は「勝たせてやりたかったなあ」と心の底からつぶやいた。「過去のチームに比べて力はない」というチームだからこそ、「勝って当然」という見方や、周囲の期待からくる重圧の感じ方は大きかった。

昨年の国体優勝をクルーとして唯一、経験している主将の浅野は「苦しくて眠れない日もあった」という。日焼けし、トレーニングで屈強になった体も、中身はごく普通の高校生だ。

先輩のバトンはリレーできななかったが、シーズン4度の全国大会で優勝1、小差の2位が3という戦績は立派。浅野ら3年生部員の多くは卒業後もボートを続けるという。悔しさをかみしめたクルーが、伸び伸びと飛躍する将来に期待したい。

この日のニュースで、浅野・山地、涙のインタビューが映し出されたと聞いた。また、10/6の『あっぱれ、ジュニア』でも、悔しさの中での浅野・山地のインタビューが放映された。

国体が終わると一気に涼しくなってきた。また、新しいチームで新しい一年が始まった。涙と汗に濡れたバトンは渡され、熱にうなされているかのように駆け抜けた3年間のボート生活も思い出が変わっていく時期になった。旭川は伴チャリの3年生が兩岸を行き来しだし、一気に気の抜けた保護者が今年もポツリポツリ川を覗きに訪れているようだ。保護者が子供達を見守った腰掛石の回りは踏み固められ、足元の雑草はそこだけ土が見えていた。先生はもう次の山地チームと歩き出している。浅野チームとは次のフィールドで会うことを楽しみにしよう。性懲りもなく金木犀の香に誘われてフラッと来てしまった。もう少しここで秋風に吹かれていようか。

完

《あとがき》

浅野チームの一年が終わりました。小さい小さいと思われていた彼らも、この一年で成長し逞しく頼もしくなりました。子供と共にご両親も成長されたのではないのでしょうか。子供の部活動に色濃く携わっていく事が、初めは驚きと冗談にしか思えなかったはずですが。しかし、先生と子供達のボートに賭ける情熱に、気が付けば飲み込まれ、いつの間にか仕事より熱心に応援するサポーターに変身してしまうのです。

そして、暖かく見守られた平成22年チームは期待に答え、自らの出せる力を振り絞って戦い続けてくれました。もう、それだけで十分です。今年も関西は強かったと日本全国のオアズマンに響き渡っています。自然の猛威に晒され、目に見えないプレッシャーと戦い苦しみながらの一年をよく耐え忍び華を咲かせてくれました。感動をありがとう！胸が震えるほどの感動をありがとう。

ボート部と出会って、あっという間に6年の歳月が流れていきました。私も十分楽しませてもらいました。この文章を書き続けて3年(4年分)が経ちました。今も一人一人、当時の部員の顔が目には浮かびます。卒業してからも会っているにも拘らず、思い出すのは高校生のままの顔なんです。不思議です。第二の青春にそろそろ自分で幕を引かなくてはと思い始めました。いよいよ、部員の顔と名前が覚えられなくなってきたので。笑 という事で、長い間つたない文章にお付き合いいただき誠にありがとうございました。これからも百間川や旭川に時々出没するかもしれません。遠くから近くから関西ボート部を応援しております。

最後になりましたが、私にこのような場を提供して下さった森川先生に心からの感謝をお伝えして……**ありがとうございました！**……本当に幸せでした。今は静かに筆をおろします。でも、『OB' no' WA』で、もうしばらく遊ばせてください。笑